

■宮城県圏域公共交通計画(圏域別整理)

- 仙南圏域 1
 - 1. 圏域の概況 1
 - 2. 公共交通の概況 3
- 仙台圏域 6
 - 1. 圏域の概況 6
 - 2. 公共交通の概況 8
- 大崎・栗原圏域..... 11
 - 1. 圏域の概況 11
 - 2. 公共交通の概況 13
- 石巻・登米・気仙沼圏域 16
 - 1. 圏域の概況 16
 - 2. 公共交通の概況 18

■仙南圏域

1. 圏域の概況

(1)位置、地勢

当該圏域は県の南側に位置しており、白石市、角田市、川崎町、村田町、蔵王町、柴田町、大河原町、七ヶ宿町、丸森町の2市7町から構成される。

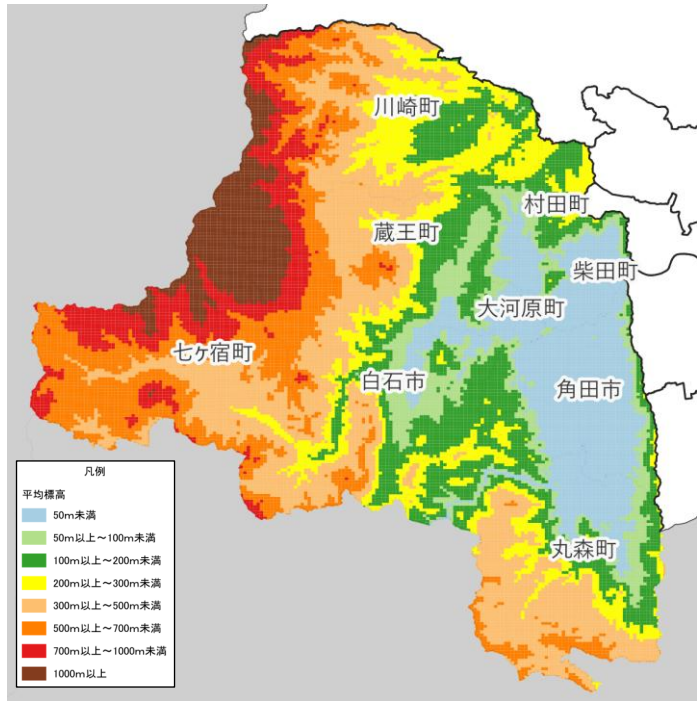


図 圏域の位置、地勢

出典：国土数値情報

(2)人口の推移等

当該圏域の人口は平成2年から令和2年まで減少傾向にある。今後も継続して減少する見込みであり、令和12年には146千人となることが予測される。

一方、高齢化率は増加傾向にあり、令和12年には38.4%と令和2年から4.4ポイント増加する見込みである。

県内外の転入、転出者数はほぼ横ばいで推移しているが、毎年一貫して転出者数が転入者数を上回っており、社会増減数はすべての年度でマイナスとなっている。

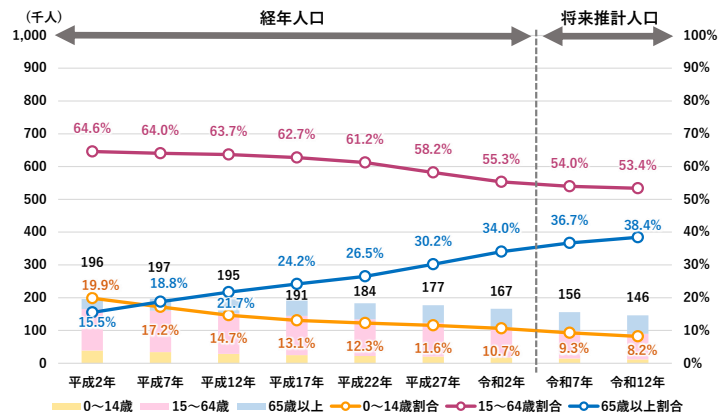


図 当該圏域の人口推移

※平成2年～平成22年では総数のみ「年齢不詳人口」を含む

出典：国勢調査 男女別人口及び年齢別割合 第6表（平成2年～令和12年）

国立社会保障・人口問題研究所

日本の地域別将来推計人口（令和5年推計）

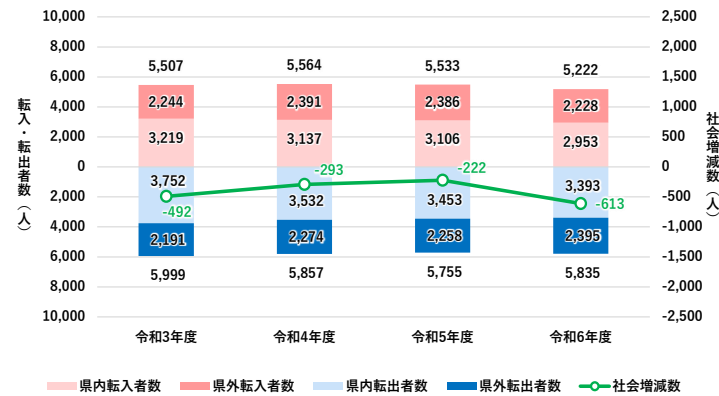


図 当該圏域の社会増減の推移

※転入・転出者数の総数には「職権記載・その他」を含む

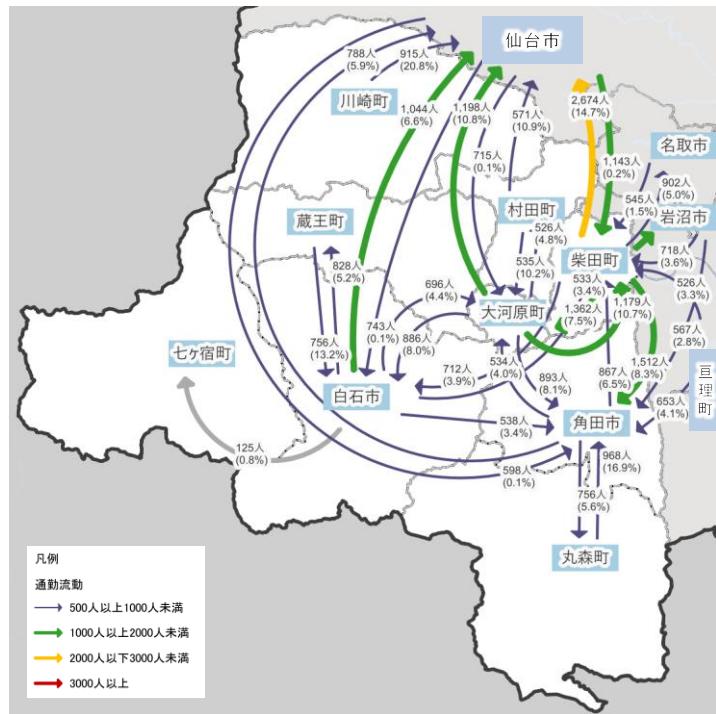
出典：国勢調査 推計人口年報 第1表（令和3年～令和6年）

(3)流動

1)通勤、通学流動

当該圏域の通勤流動は、白石市（62.8%）、角田市（56.1%）、川崎町（59.8%）、蔵王町（52.2%）、丸森町（51.1%）で半数以上の人口が自市町内で移動しており、白石市、柴田町、大河原町の一部では仙台市への流動もみられる。

通学流動は、柴田町（50.0%）で半数の人口が自町内で移動しており、角田市、柴田町、大河原町、岩沼市の一部では白石市への流動もみられる。

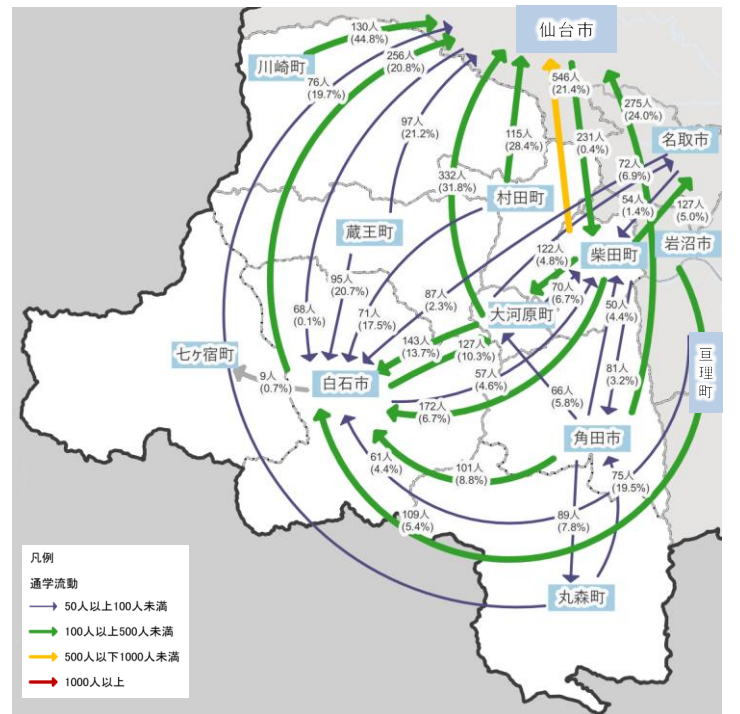


※500人未満非表示
ただし各市町村における最大値については表示

図 通勤流動(2020年)

出典：国勢調査 従業地・通学地による人口・就業状態等集計 第3表（令和2年）

表 通勤、通学流動量(合計、2020年)



※50人未満非表示
ただし各市町村における最大値については表示

図 通学流動(2020年)

移動量（通勤+通学）											単位：人				
通勤・通学先→ 居住地↓		仙南圏域									近隣市町村				
		白石市	角田市	蔵王町	七ヶ宿町	大河原町	村田町	柴田町	川崎町	丸森町	仙台市	名取市	岩沼市	亘理町	山元町
仙南 圏 域	白石市	10,497	546	857	134	823	223	590	42	113	1,300	235	291	90	58
	角田市	479	7,884	117	13	600	177	917	24	845	1,063	357	464	438	252
	蔵王町	851	139	3,090	13	381	319	273	74	20	498	126	125	42	10
	七ヶ宿町	57	4	12	524	11	4	3	1	1	15	3			1
	大河原町	1,029	916	495	17	4,414	567	1,249	91	154	1,530	442	501	190	60
	村田町	296	210	262	6	566	2,311	395	168	26	686	203	245	66	21
	柴田町	884	1,593	298	6	1,484	511	8,650	85	189	3,220	1,029	1,331	491	128
	川崎町	69	37	92		110	173	77	2,709	3	1,045	104	55	14	1
	丸森町	213	1,043	32	1	151	27	169	2	3,036	265	82	106	97	89
近 隣 市 町 村	仙台市	811	600	244	17	759	404	1,374	521	89	481,024	12,001	4,117	747	241
	名取市	325	361	75	6	314	148	599	67	35	16,834	15,101	2,795	539	155
	岩沼市	350	570	72	1	374	138	757	25	53	5,703	2,433	8,716	887	204
	亘理町	176	657	50		270	106	554	15	106	3,371	1,325	1,943	6,813	804
	山元町	54	273	10	2	68	9	100	4	64	756	250	365	548	2,791

2)通勤、通学時の移動手段

当該圏域の通勤、通学時の移動手段は、自家用車が74.9%と最も高く、次いで徒歩、自転車が11.5%と続いている。公共交通が10.6%（乗合バス等（1.4%）、鉄道（9.2%））を占め、公共交通の分担率が最も高い仙台圏域（28.8%）と18.2ポイントの差がある。

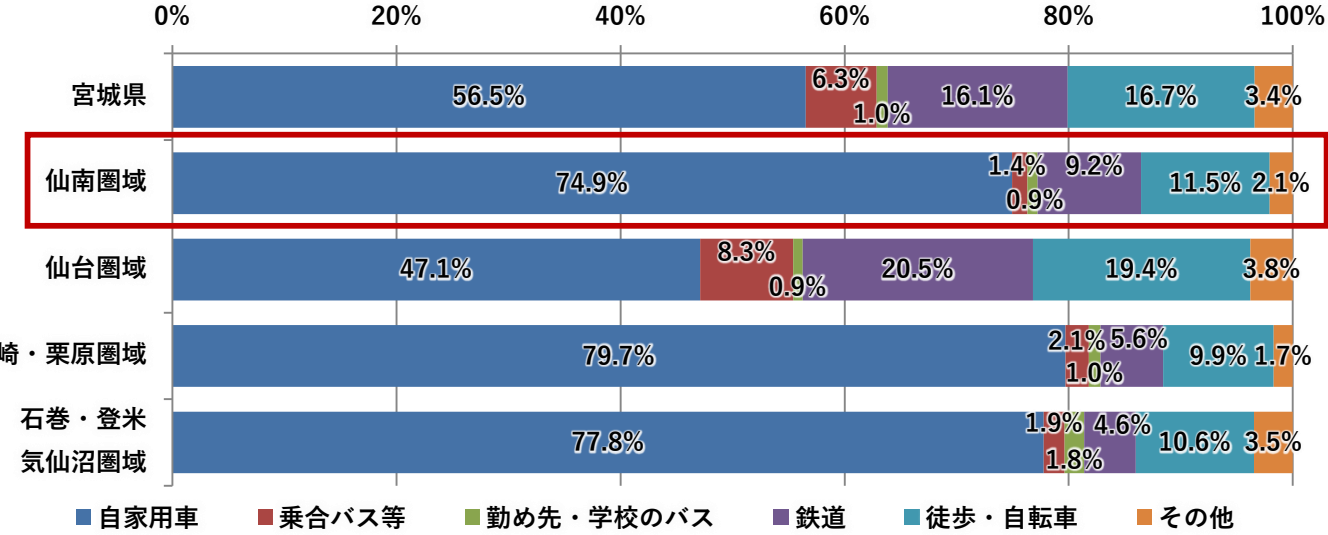
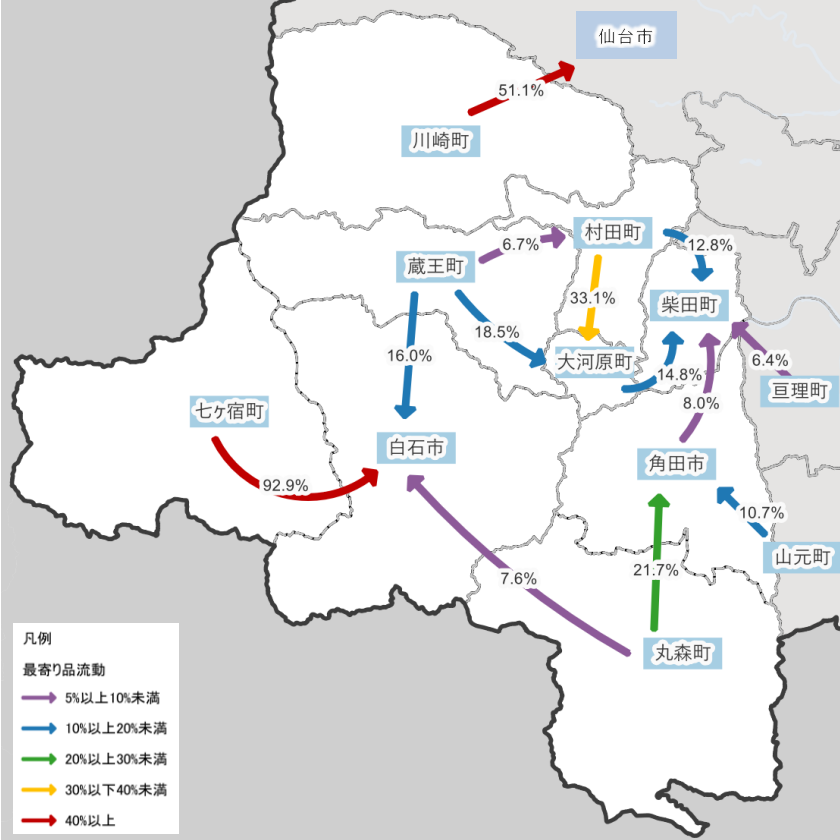


図 通勤、通学時の移動手段(2020 年)
出典：国勢調査 従業地・通学地による人口・就業状態等集計 第18表（令和2年）

3)買い物流動(最寄り品)

市町村間をまたぐ買い物流動は、柴田町に対して、村田町、大河原町、角田市からの流入が見られ、他圏域の亘理町からも流入している。
一方で、大河原町に対しては蔵王町、村田町からの流入が見られ、角田市には丸森町、他圏域の山元町からの流入が見られる。



※5%未満の流動は非表示
※図中の割合は消費購買動向調査（サンプル調査）の回答者を母数としており、該当市町村の総人口を母数とするものではない点に留意
※七ヶ宿町はサンプル数 n=14 であり、サンプル数が相対的に少ない割合である点に留意

図 買い物流動(最寄り品、2021 年度)
出典：消費購買動向調査（令和3年度）

(4)観光入込客数等

施設利用者は、国営みちのく杜の湖畔公園で50～100万人となっているほか、蔵王（刈田山頂）や遠刈田温泉で10～50万人の施設利用がみられる。

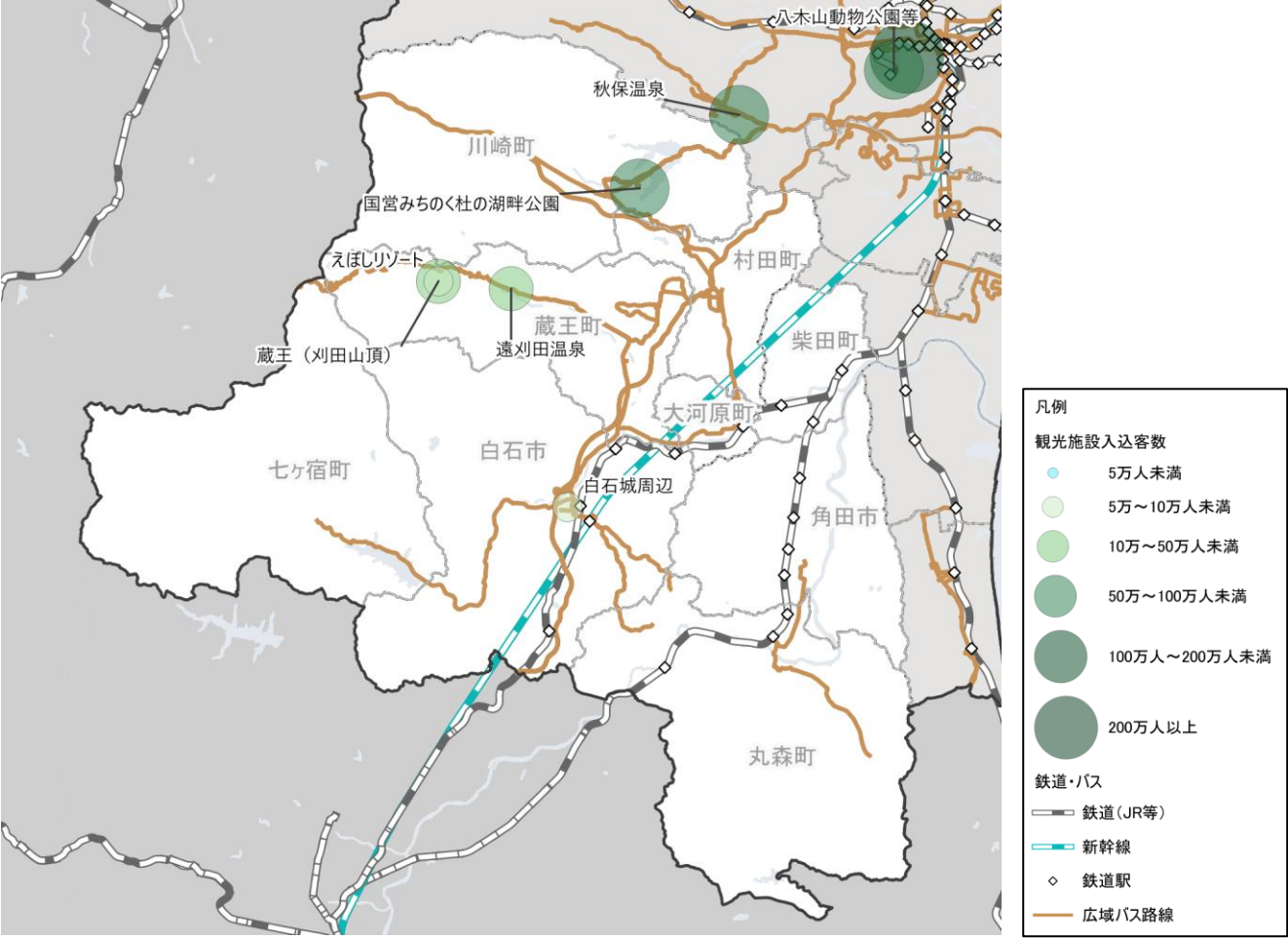
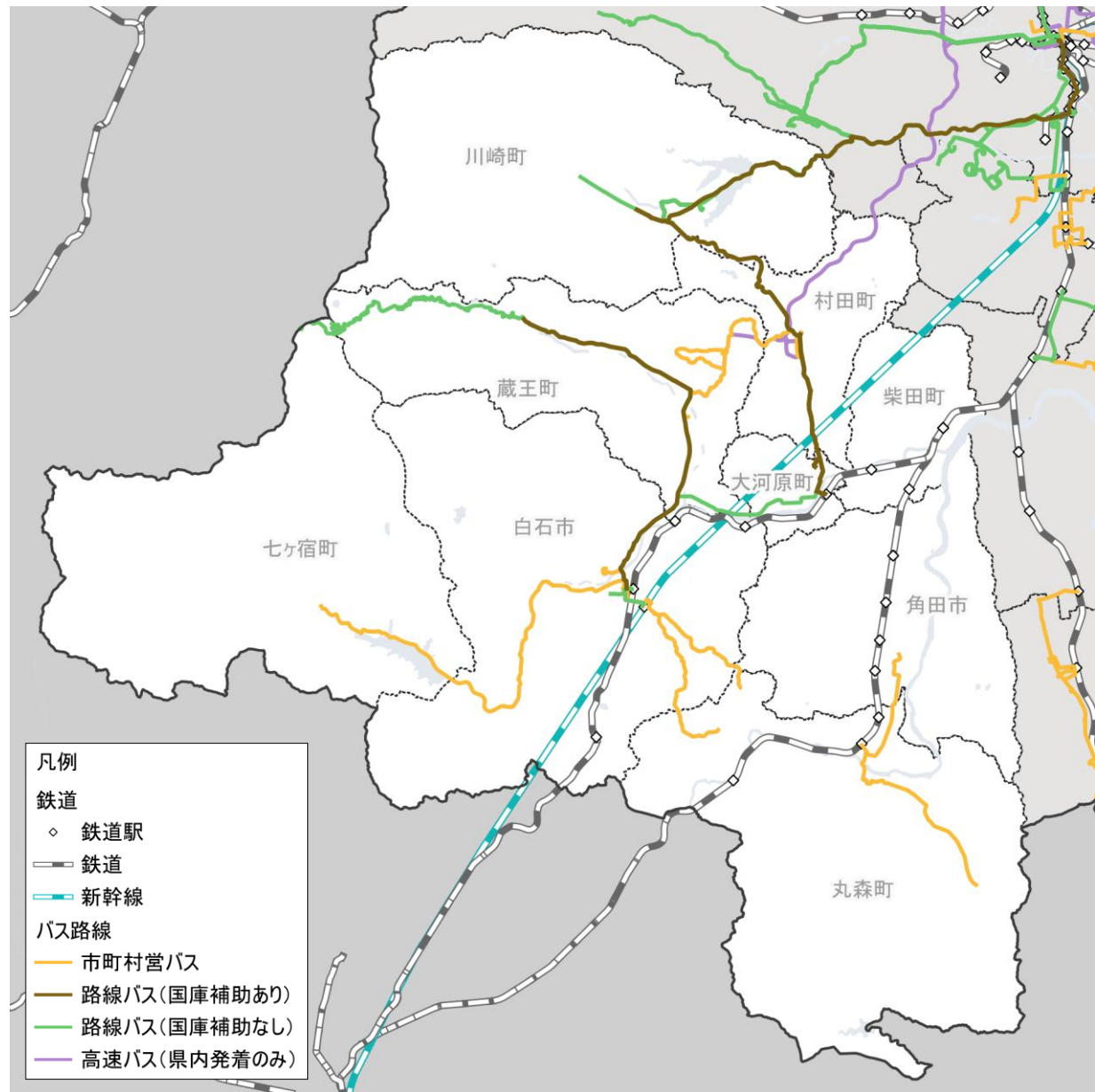


図 施設利用者数(2023 年)
出典：宮城県観光統計概要 表8（令和5年）

2. 公共交通の概況

(1)運行状況

当該圏域では、地域間幹線系統（国庫補助路線）4 系統のほか、補助を受けていない広域路線バスが運行している。鉄道は東北新幹線をはじめ、JR 東北本線、阿武隈急行線が運行している。



公共交通の運行状況(仙南圏域)

表 運行する公共交通サービス一覧

市町村名	鉄道	高速バス※1	路線バス(広域)	市町村営バス(広域)	域内交通※2	離島航路
白石市	○東北新幹線、東北本線(JR東日本)		○白石遠刈田線(ミヤコーバス) ○みやぎ蔵王山麓アクセス線(タケヤ交通)	○大張線、白角線(白石市) ○七ヶ宿白石線(七ヶ宿町)	○白石市民バス(白石市)	
角田市	○阿武隈急行線(阿武隈急行)			○大内線(丸森町)	○デマンド型乗合タクシー(角田市)	
蔵王町		○蔵王町～仙台(ミヤコーバス)	○白石遠刈田線、大河原遠刈田線(ミヤコーバス)	○永野線(蔵王町・村田町)	○町民バス、町民タクシー(蔵王町)	
七ヶ宿町				○七ヶ宿白石線(七ヶ宿町)	○町営バス(七ヶ宿町)	
大河原町	○東北本線(JR東日本)		○川崎線、大河原遠刈田線(ミヤコーバス)		○デマンド型乗合タクシー(大河原町)	
村田町		○蔵王町～仙台(ミヤコーバス)	○川崎線(ミヤコーバス)	○永野線(蔵王町・村田町)	○デマンド型乗合タクシー(村田町)	
柴田町	○東北本線(JR東日本) ○阿武隈急行線(阿武隈急行)				○デマンド型乗合タクシー(村田町)	
川崎町			○川崎線(ミヤコーバス) ○秋保線(宮城交通) ○秋保・川崎、仙台西部ライナー(タケヤ交通)		○川崎町民バス(川崎町)	
丸森町	○阿武隈急行線(阿武隈急行)			○大張線、白角線(白石市) ○大内線(丸森町)	○丸森町民バス、デマンド交通(丸森町)	

※1: 県内発着路線のみ掲載
※2: サービス名のみ掲載し、個別の路線名は省略

(参考)レンタサイクル・電動キックボードの運行状況

市町村名	貸出場所	問い合わせ先
白石市	自転車: 白石駅、白石蔵王駅、白石城 電動アシスト付自転車: 白石駅のみ	白石市観光協会
角田市	角田自治センター(角田駅内)	角田自治センター
蔵王町	みやぎ蔵王こけし館、蔵王町観光案内所	蔵王町観光物産協会
七ヶ宿町	Book&Cafe こ・らっしえ	七ヶ宿まちづくり株式会社
川崎町	移住定住・起業サポートセンター みやぎ川崎SPRING	川崎町観光協会
丸森町	まるもり移住・定住サポートセンター 産業伝承館	阿武隈急行丸森駅 阿武隈急行あぶくま駅

(2)地域間幹線系統

当該圏域の地域間幹線系統は 4 系統である。このうち、秋保線〔川崎〕は令和 5 年 9 月に追加された路線である。

4 系統のうち川崎線（村田営業所経由）は輸送量 15 を下回っているなど、国庫補助の要件の一つである輸送量 15.0 以上を満たしていない状況にある。

また、4 系統すべてで平均乗車密度 5.0 を下回っており、国庫補助が満額交付されない状況（密度カットの対象）となっている。

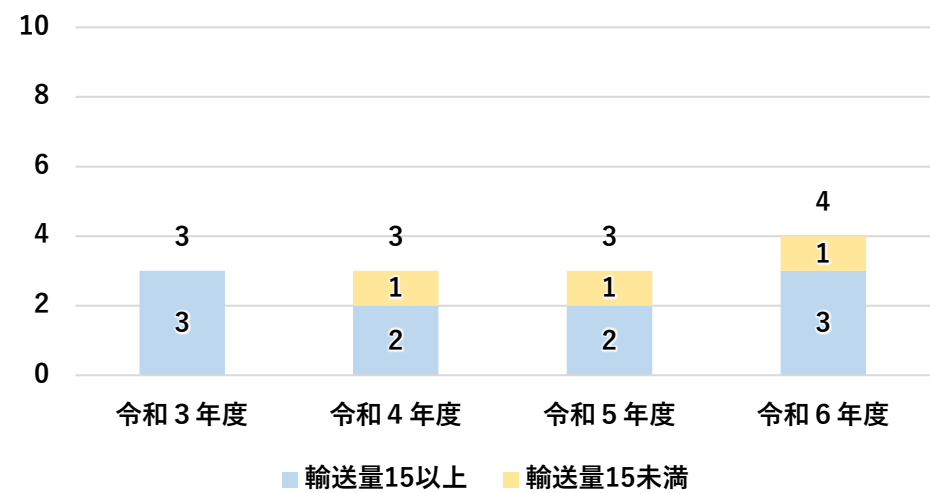


図 地域間幹線系統の推移
出典：交通事業者輸送実績資料（令和 3 年～令和 5 年）
運行系統別輸送実績及び平均乗車密度算定表（令和 6 年）

表 地域間幹線系統一覧(令和 5 年 10 月から令和 6 年 9 月運行実績)

番号	圏域	事業者名	路線名	起点	経由地	終点	実車走行キロ (km)	運行回数 (回/日)	平均乗車密度	輸送量
1	仙南圏域	ミヤコーバス	白石遠刈田	白石蔵王駅前	永野	宮城蔵王 ロイヤルホテル	118,000.8	8.6	2.6	22.3
2	仙南圏域	ミヤコーバス	川崎	大河原駅前	村田営業所	川崎	47,190.0	3.3	2.5	8.2
3	仙南圏域	ミヤコーバス	川崎	大河原駅前	沼辺	村田営業所	13,683.5	3.5	4.6	16.1
4	仙台圏域、 仙南圏域	宮城交通	秋保（川崎）	仙台駅前	茂庭	川崎	77,312.3	3.3	4.6	15.1

出典：運行系統別輸送実績及び平均乗車密度算定表（令和 6 年）

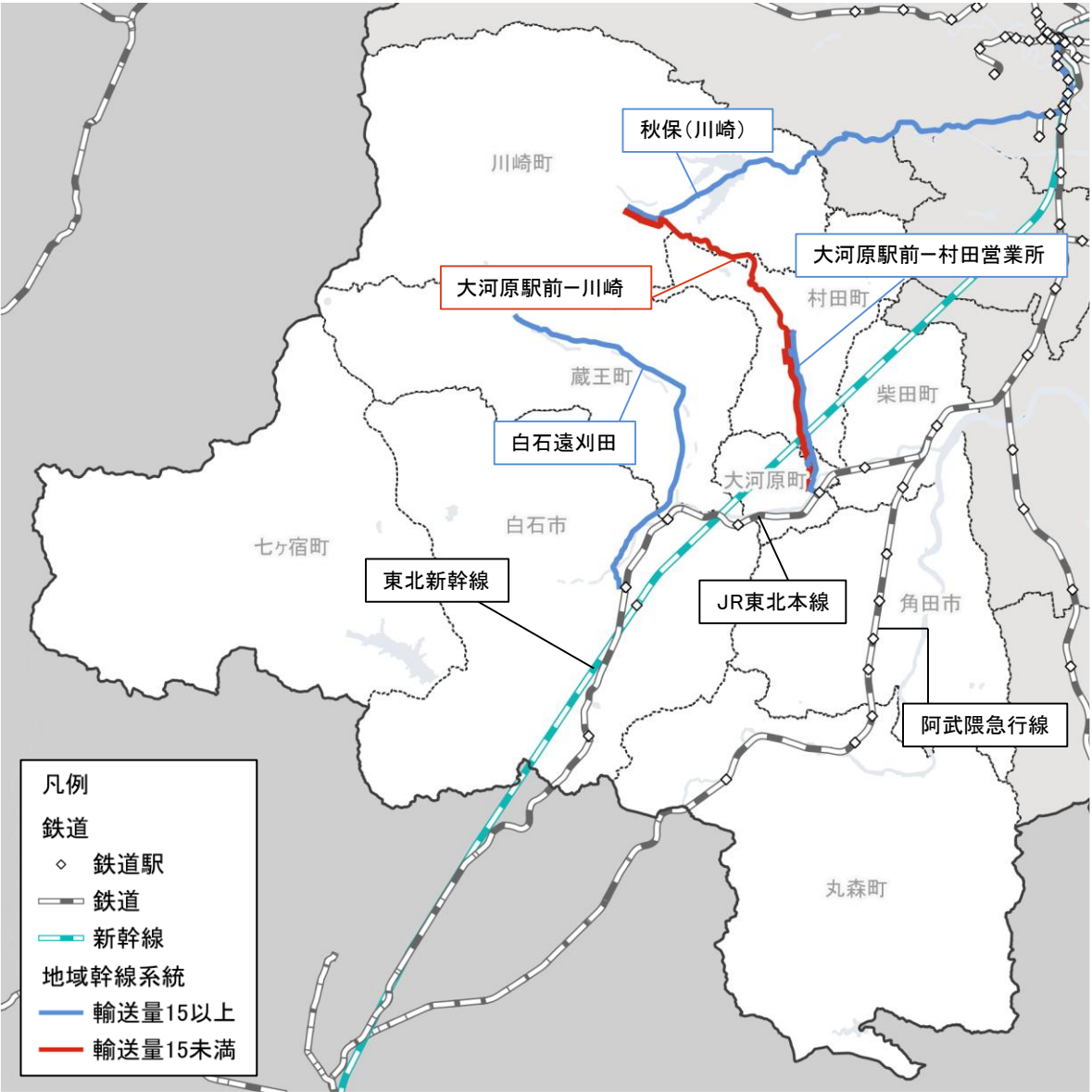


図 地域内幹線系統の運行状況(仙南圏域)

(3) 地域内フィーダー系統

当該圏域に該当路線はなし。

(4)公共交通への財政負担額

当該圏域の民間・地域運行の公共交通に対する補助額について、令和２年度から令和４年度にかけて増加傾向にあったが、令和４年度から令和５年度にかけて約２割減少し、令和５年度から令和６年度にかけて横ばい傾向にある。

市町村営の公共交通に対する負担額について、令和２年度から令和５年度にかけて概ね横ばい傾向にあり、令和６年度には微減となっている。

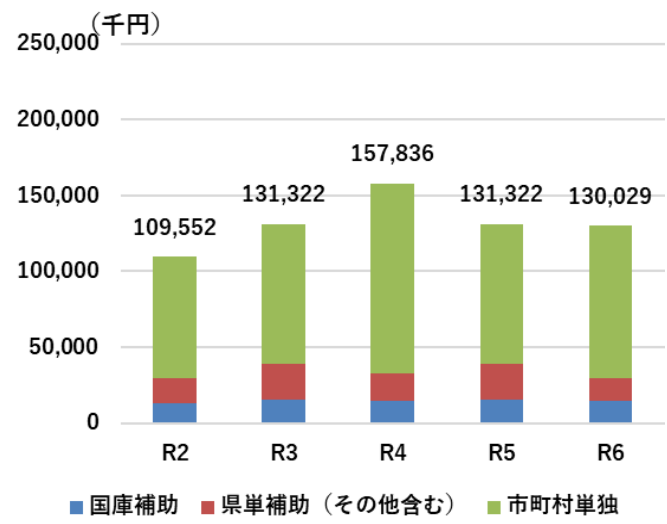


図 公共交通への負担額
（民間・地域運行）

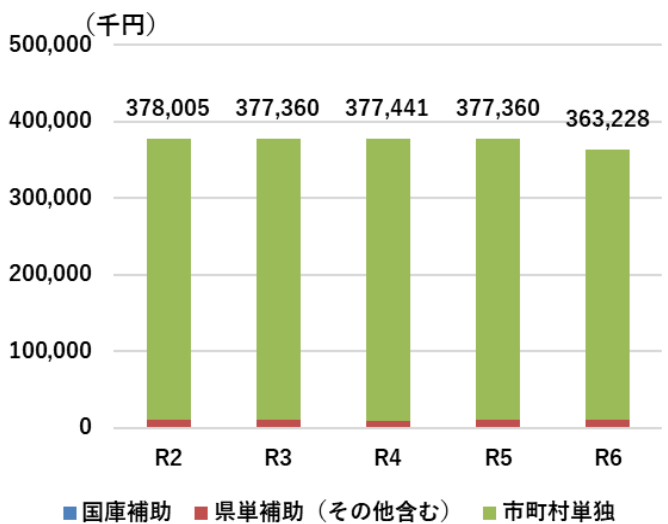


図 公共交通への負担額
（市町村営）

- (参考) 今後整理予定の項目
- ・時間帯別の移動実態の整理（ビッグデータの分析）
 - ・通院流動（レセプトデータの分析）
 - ・高校通学実態（高校アンケートの分析）

出典：地方バス路線運行維持対策に要する経費に関する調査

(5)公共交通に関する計画の策定状況

当該圏域では、9自治体中4自治体が計画を策定しており、1自治体が策定中、4自治体が未策定（未定）である。

表 地域公共交通計画等(旧制度含む)の策定状況
2025年8月時点

市町村名	地域公共交通計画等(旧制度含む)の策定状況		
	区分	策定 (予定) 時期	備考
白石市	策定済み		令和9年度末期間満了
角田市	策定中	令和8年4月～	
蔵王町	策定済み		令和8年度末期間満了
七ヶ宿町	未策定	未定	
大河原町	未策定	未定	
村田町	未策定	未定	
柴田町	未策定	未定	
川崎町	策定済み		平成27年度末期間満了
丸森町	策定済み		令和11年度末期間満了

■仙台圏域

1. 圏域の概況

(1)位置、地勢

当該圏域は県の中央に位置しており、仙台市、富谷市、塩竈市、多賀城市、名取市、岩沼市、大和町、大郷町、松島町、利府町、七ヶ浜町、亶理町、山元町、大衡村の6市7町1村から構成される。

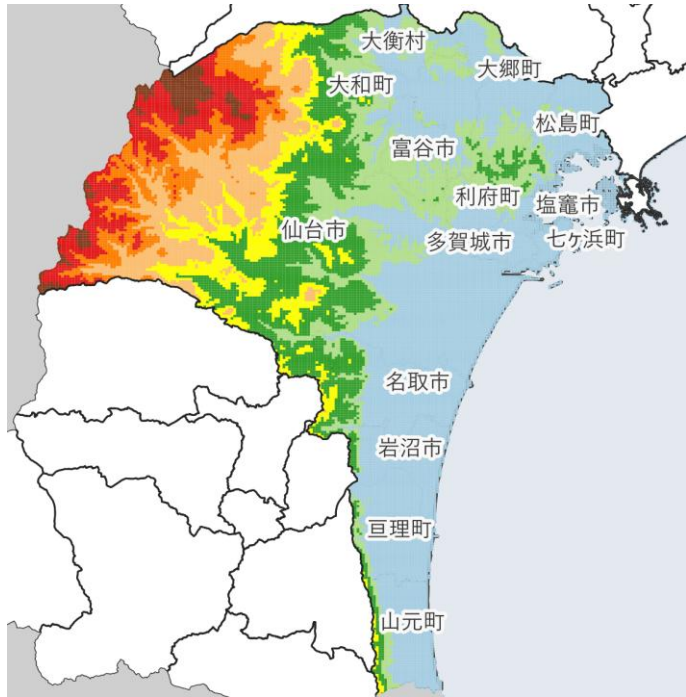
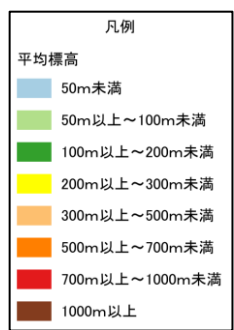


図 圏域の位置、地勢

出典：国土数値情報

(2)人口の推移等

当該圏域の人口は平成2年から令和2年まで増加傾向にあるが、令和7年以降は減少する見込みであり、令和12年には1,515千人となることが予測される。

一方、高齢化率は増加傾向にあり、令和12年には27.8%と令和2年から2.8ポイント増加する見込みである。

県内外の転入、転出者数はほぼ横ばいで推移しているが、毎年一貫して転入者数が転出者数を上回っており、社会増減数はすべての年度でプラスとなっている。

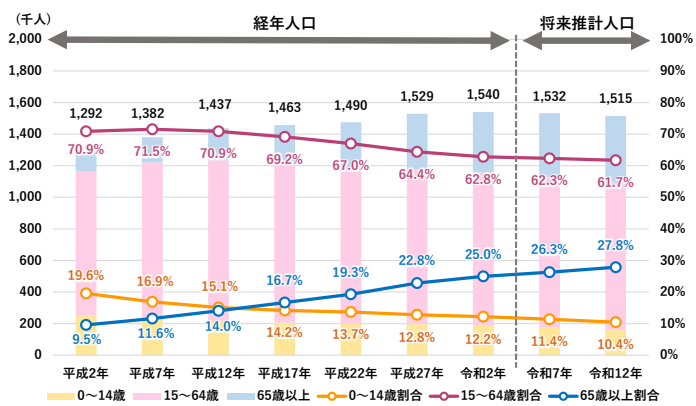


図 当該圏域の人口推移

※平成2年～平成22年では総数のみ「年齢不詳人口」を含む

出典：国勢調査 男女別人口及び年齢別割合 第6表（平成2年～令和12年）

国立社会保障・人口問題研究所

日本の地域別将来推計人口（令和5年推計）

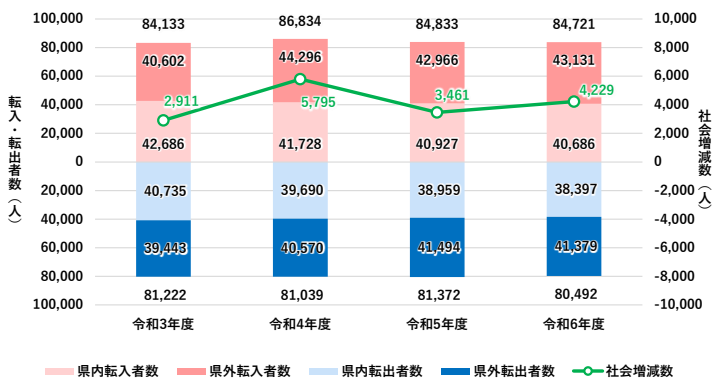


図 当該圏域の社会増減の推移

※転入・転出者数の総数には「職権記載・その他」を含む

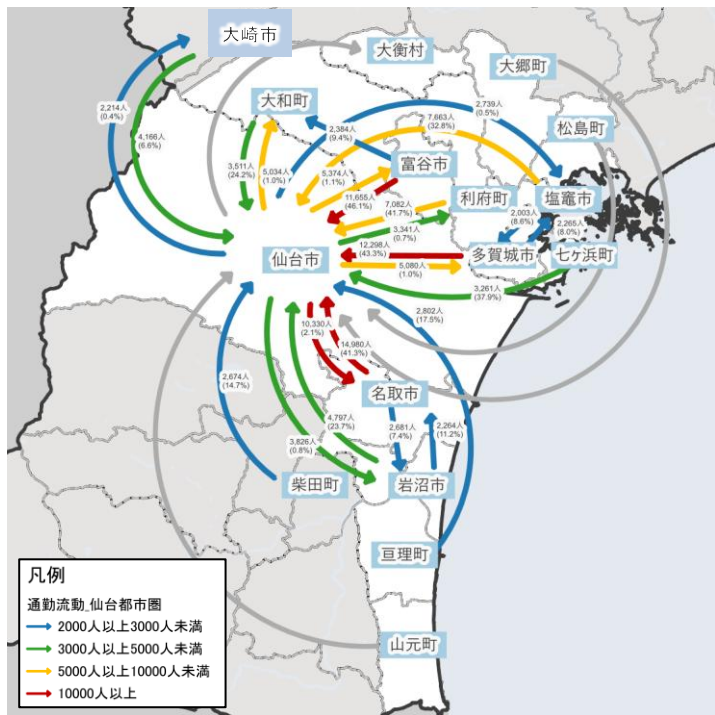
出典：国勢調査 推計人口年報 第1表（令和3年～令和6年）

(3)流動

1)通勤、通学流動

通勤流動は、仙台市（85.7%）で半数以上の人口が自市内で移動しており、富谷市、多賀城市、名取市をはじめとして他市町からの流動も多くみられる。

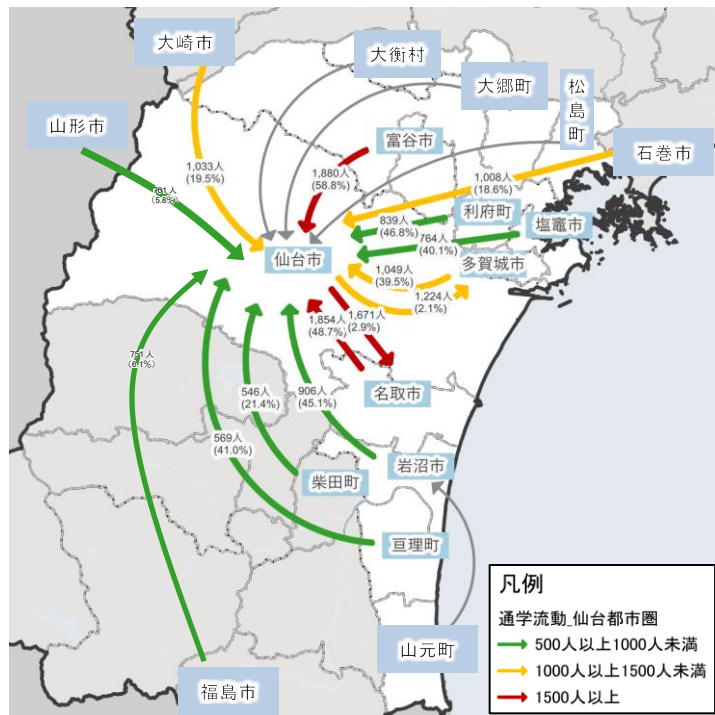
通学流動は、仙台市（86.9%）で半数以上の人口が自市内で移動しており、富谷市、多賀城市、名取市をはじめとして他市町からの流動もみられる。



※2,000人未満非表示
ただし各市町村における最大値については表示

図 通勤流動(2020年)

出典：国勢調査 従業地・通学地による人口・就業状態等集計 第3表（令和2年）



※500人未満非表示
ただし各市町村における最大値については表示

図 通学流動(2020年)

表 通勤、通学流動量(合計、2020年)

移動量（通勤+通学）		単位：人																						
活動・通学先→居住地↓	仙台圏域														近隣市町村						その他			
	仙台市	富谷市	大和町	大郷町	大衡村	塩竈市	多賀城市	松島町	七ヶ浜町	利府町	名取市	岩沼市	亶理町	山元町	川崎町	村田町	柴田町	角田市	大崎市	色麻町		美里町	石巻市	
仙台圏域	仙台市	481,024	5,702	5,339	450	1,457	2,972	6,304	478	344	3,554	12,001	4,117	747	241	521	404	1,374	600	2,260	93	227	1,775	
	富谷市	13,535	8,106	2,574	179	826	148	324	35	9	389	202	58	11	5	7	29	10	557	56	41	148		
	大和町	3,921	1,256	7,101	210	1,257	68	106	35	14	161	56	18	5	3	1	6	5	1	504	81	24	85	
	大郷町	696	143	417	1,694	126	128	80	109	15	162	15	7			1	3	2	191	6	19	37		
	大衡村	465	162	630	41	1,272	6	22	3	1	39	8	5			1		2	1	2	186	26	10	7
	塩竈市	8,427	170	244	152	90	9,771	2,260	429	306	1,346	209	97	19	3	3	10	36	14	159	4	25	269	
	多賀城市	13,347	180	216	81	69	2,450	10,326	263	352	989	282	114	21	10	6	8	33	15	135	3	34	285	
	松島町	1,704	35	134	166	46	538	306	2,604	33	282	34	15	2	1		2	11	3	153	5	29	213	
	七ヶ浜町	3,573	46	53	23	21	1,228	1,492	105	2,119	278	84	42	5	1	6	1	7	3	28		6	58	
	利府町	7,921	345	401	184	157	1,188	1,062	266	87	5,669	180	73	13	4	4	2	31	16	158	5	24	274	
近隣市町村	名取市	16,834	71	107	17	31	107	305	17	12	104	15,101	2,795	539	155	67	148	599	361	93	8	11	95	
	岩沼市	5,703	22	37		9	41	130	10	9	49	2,433	8,716	887	204	25	138	757	570	35	3	13	32	
	亶理町	3,371	24	29	1	3	19	92	5	4	42	1,325	1,943	6,813	804	15	106	554	657	15		6	24	
	山元町	756	1	2			4	13		1	7	250	365	548	2,791	4	9	100	273	3			3	
	川崎町	1,045	3	13	1	3	3	13	1	1	6	104	55	14	1	2,709	173	77	37	6			2	
	村田町	686	7	7	1	2	2	11	1	1	11	203	245	66	21	168	2,311	395	210		1		5	
	柴田町	3,220	8	23	4	5	13	61	3		31	1,029	1,331	491	128	85	511	8,650	1,593	18	1	1	21	
その他	角田市	1,063	8	9		1	5	24	1	2	8	357	464	438	252	24	177	917	7,884	8			6	
	大崎市	5,199	427	1,554	435	1,450	188	243	205	12	251	142	33	8	2	3	7	23	7	47,375	568	2,196	969	
	色麻町	245	58	220	20	176	8	14	2	1	8	7	1				2	1	569	1,763		19	17	
	美里町	1,193	59	221	135	133	80	80	67	3	55	36	6	3			7	2	3,156	26	4,980	621		
その他	石巻市	2,987	62	143	88	51	325	335	162	20	118	85	23	4	4	4	4	14	8	600	9	279	55,849	
	山形市	701	1	1				11			13							8					3	
	福島市	751	1	1			1	9			30	4				1	43							

2)通勤、通学時の移動手段

当該圏域の通勤、通学時の移動手段は、自家用車が47.1%と最も高く、次いで鉄道が20.5%と続いている。他の圏域に比べて公共交通の占める割合が28.8%（乗合バス等（8.3%）、鉄道（20.5%））と最も高く、比較的公共交通が利用されている特徴がある。

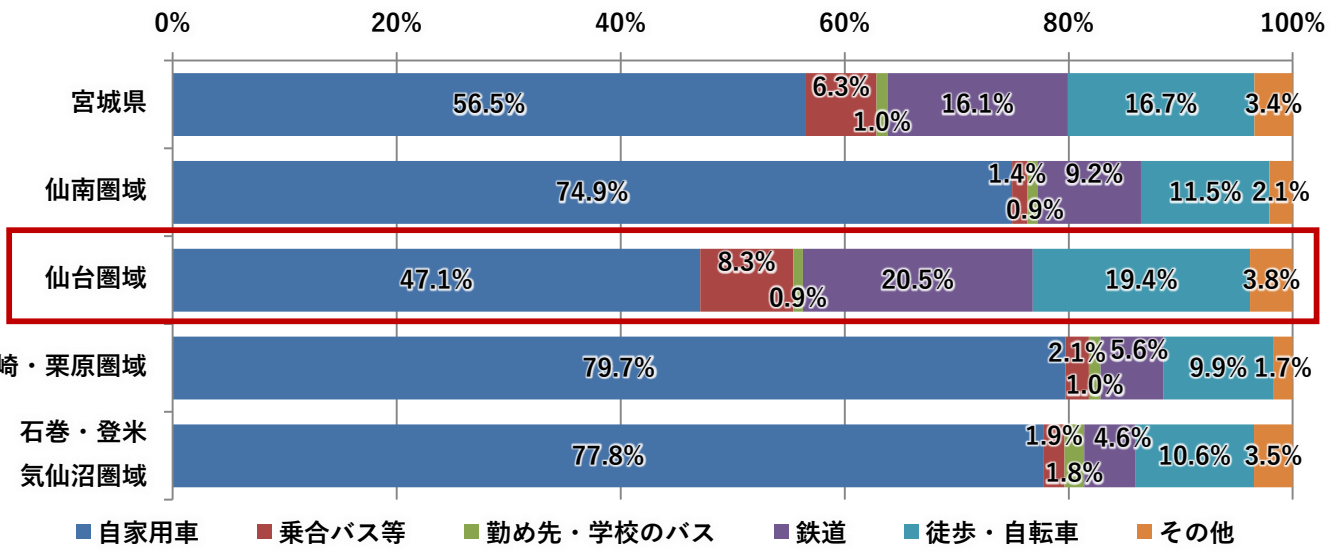
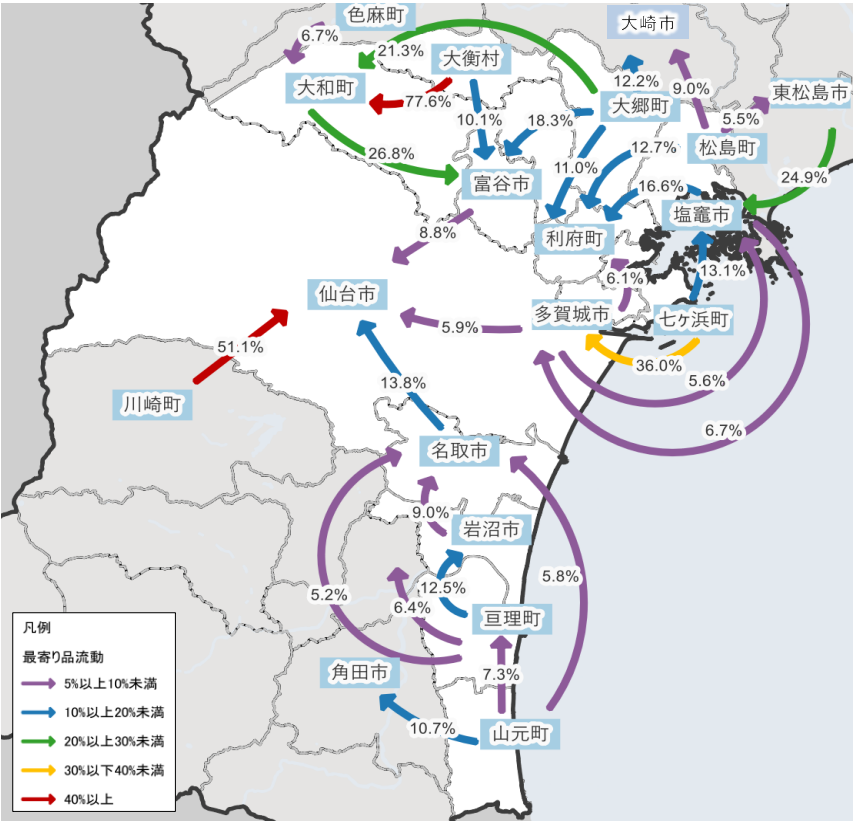


図 通勤、通学時の移動手段(2020 年)
出典：国勢調査 従業地・通学地による人口・就業状態等集計 第18表（令和2年）

3)買い物流動(最寄り品)

市町村間をまたぐ買い物流動は、仙台市に対して、富谷市、多賀城市、名取市からの流入が見られる。
一方で、富谷市、多賀城市、名取市には近隣市町村からの流入が多く見られる。



※図中の割合は消費購買動向調査（サンプル調査）の回答者を母数としており、該当市町村の総人口を母数とするものではない点に留意

図 買い物流動(最寄り品、2021 年度)
出典：消費購買動向調査（令和3年度）

(4)観光入込客数等

施設利用者数は、松島海岸で 300 万人近くになっており、仙台城跡、瑞鳳殿等や志波彦神社、鹽竈神社では 100 万人以上となっているほか、秋保温泉や八木山動物公園、定義如来で 50～100 万人の施設利用がみられる。

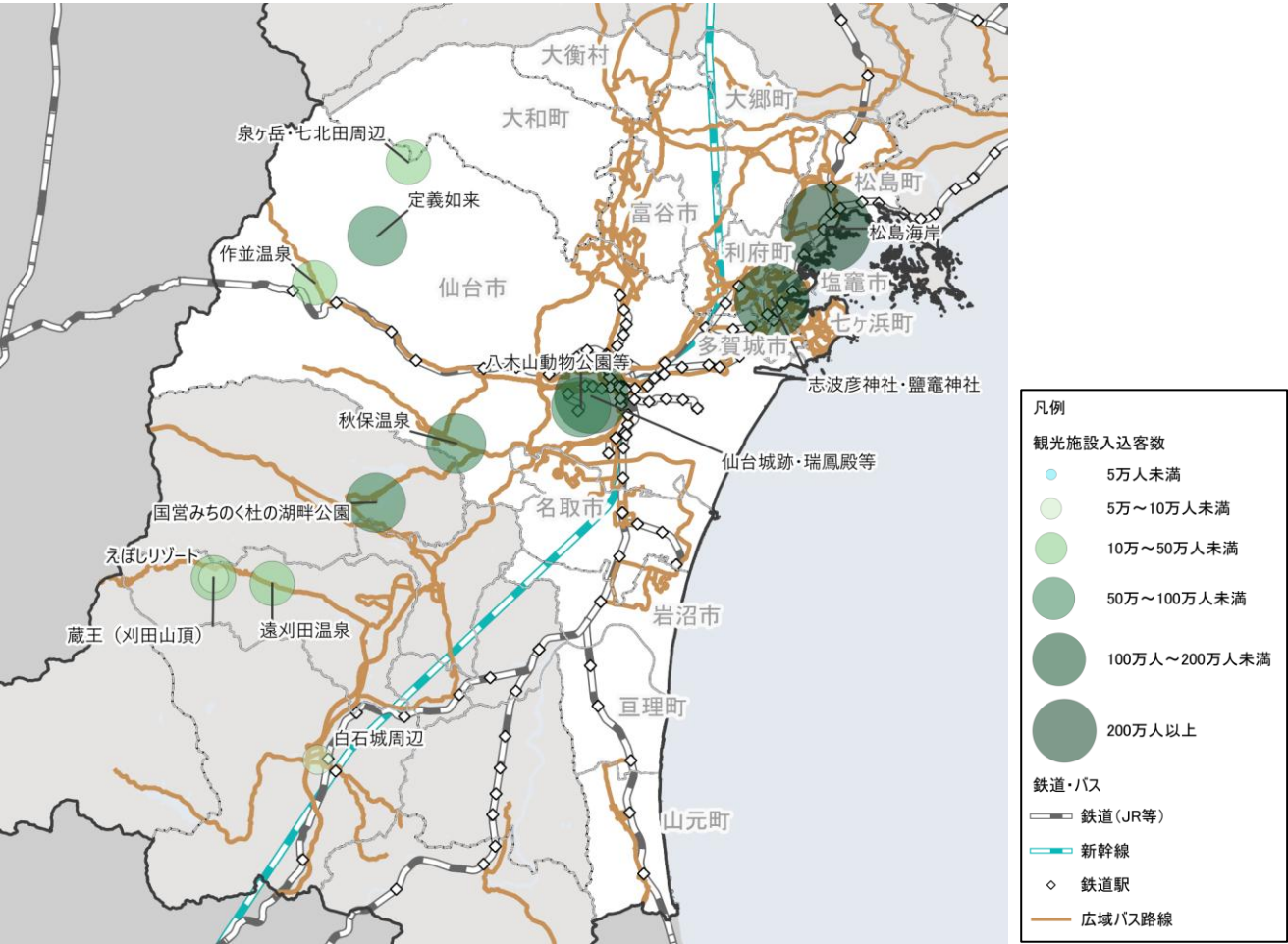


図 施設利用者数(2023 年)
出典：宮城県観光統計概要 表8（令和5年）

2. 公共交通の概況

(1)運行状況

当該圏域では、地域間幹線系統（国庫補助路線）5 系統のほか、補助を受けていない広域路線バスが運行している。鉄道は東北新幹線をはじめ、JR 東北本線、JR 仙山線などの 8 路線が運行している。

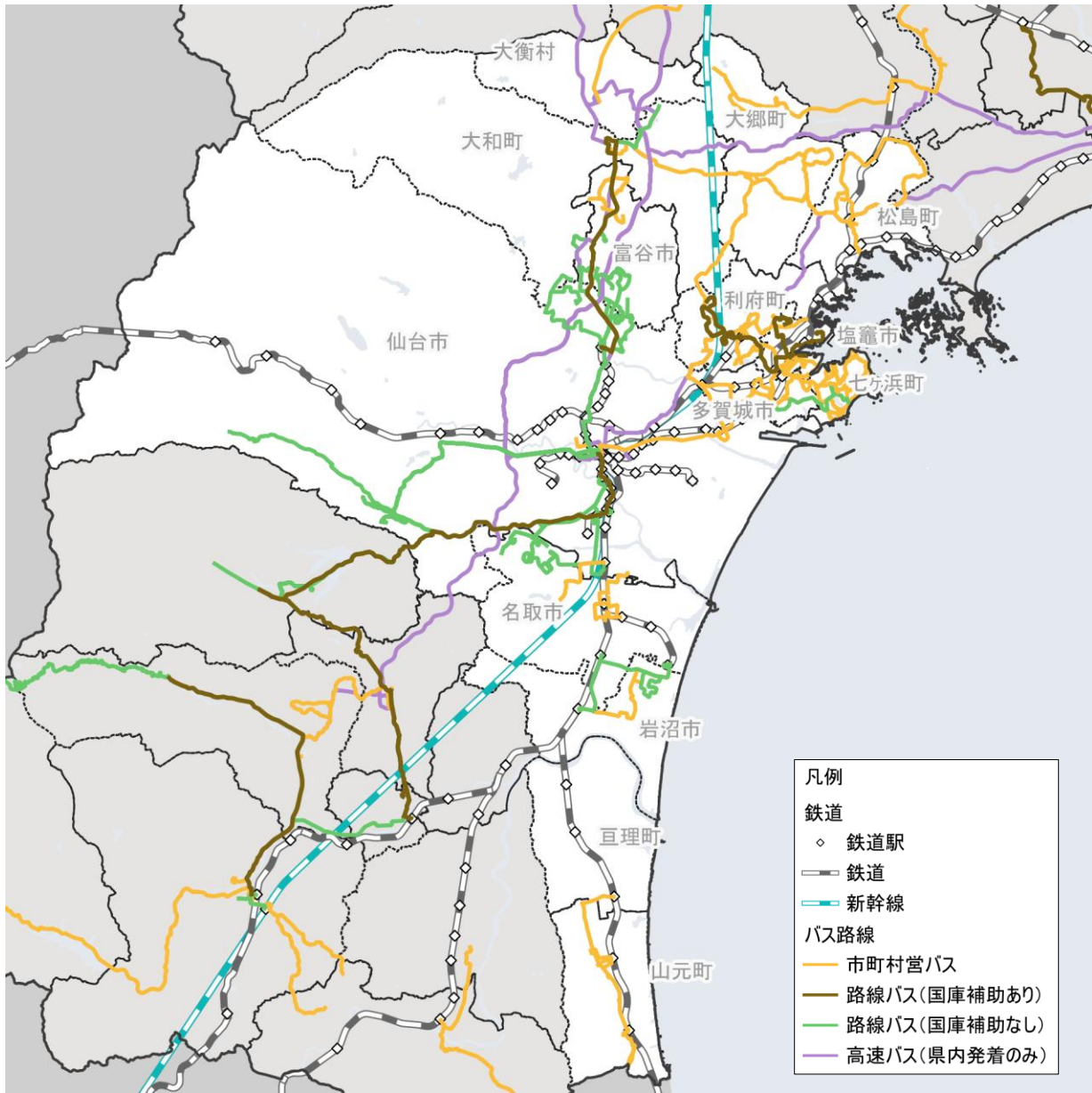


図 公共交通の運行状況(仙台圏域)

表 運行する公共交通サービス一覧

市町村名	鉄道	高速バス※1	路線バス(広域)	市町村営バス(広域)	域内交通※2	離島航路
仙台市	○東北新幹線、東北本線、仙山線、仙石線(JR東日本) ○仙台市地下鉄(仙台市交通局)	○仙台～古川(JRバス東北) ○仙台～栗原、登米～仙台、仙台～栗原、仙台～登米(東日本急行) ○仙台～石巻、仙台～加美、仙台～南三陸・気仙沼、仙台～古川線、仙台～佐沼線、仙台～村田・蔵王・連判田、仙台～大衡、仙台～鳴子、仙台～南三陸・気仙沼(宮城交通)	○各方面(宮城交通) ○各方面(仙台市交通局) ○錦が丘線(愛子観光バス) ○吉岡線(ミヤコーバス) ○仙台～川崎(タケヤ交通)	○町中循環線、高館線、なとりんくる(名取市) ○西部路線(利府町) ○宮床線(大和町) ○多賀城西部線(仙塩交通)	○各方面(仙台市)	
塩竈市	○東北本線、仙石線(JR東日本)		○利府線、ゴルフ場線(ミヤコーバス)	○利府塩釜線、七ヶ浜町民バス「ぐるりんこ」、東部路線、NEWしおナビバス東南部コース(塩竈市) ○多賀城西部線(仙塩交通)	○しおナビバス(塩竈市) ○NEWしおナビバス(塩竈市)	塩竈～朴島(ほおじま)航路(塩竈市)
名取市	○東北本線、仙台空港アクセス鉄道(JR東日本)		○ライフタウン名取線、尚綱学院大線、熊野堂線(宮城交通) ○臨空循環バス(仙台バス)	○まちなか循環線、高館線、愛島線(名取市)	○名取市乗合バス(名取市) ○AIデマンド型乗合タクシー(名取市)	
多賀城市	○東北本線、仙石線(JR東日本)		○汐見台団地線(ミヤコーバス) ○荒井多賀城線(R2.4.25～運休中) ○陸前高砂駅行線、東北大学病院行線(仙台市交通局)	○七ヶ浜町民バス「ぐるりんこ」、NEWしおナビバス東南部コース(塩竈市) ○多賀城西部線(仙塩交通) ○多賀城東部線(ミヤコーバス)		
岩沼市	○東北本線、常盤線(JR東日本)		○臨空循環バス(仙台バス)	○空港線(岩沼市)	○岩沼市民バス(岩沼市) ○岩沼市デマンド型乗合タクシー(岩沼市) ○岩沼AI乗合バス(岩沼市)	
富谷市			○新富谷ガーデンシティ線、上桜木大清水線、東向陽台線、泉ヶ丘大富線、南富谷サニータウン線、泉鶴が丘線、向陽台循環線、吉岡線(宮城交通) ○吉岡線(ミヤコーバス)	○北部黒川病院線(富谷市)	○富谷市民バス(富谷市) ○富谷市デマンド型交通(富谷市)	
亘理町	○常磐線(JR東日本)			○町民バス定期運行型(山元町)	○亘理町コミュニティバス(亘理町) ○デマンド型乗合タクシー(亘理町)	
山元町	○常磐線(JR東日本)			○町民バス定期運行型(山元町)	○予約運行型デマンド交通(山元町)	
松島町	○東北本線、仙石線(JR東日本)	○ザ・サンライナー(京成バス千葉イースト・宮城交通)		○北松島線、川内経由松島線、山崎経由松島線、不来内経由松島線(松島町)	○松島町営バス(松島町)	
七ヶ浜町			○汐見台団地線(ミヤコーバス)	○七ヶ浜町民バス「ぐるりんこ」(七ヶ浜町) ○多賀城東部線(ミヤコーバス)		
利府町	○東北本線、仙石線(JR東日本)		○利府線、利府青山線、菅谷青葉台線、葉山赤沼線、ゴルフ場線(ミヤコーバス) ○イオンモール新利府線(宮城交通)	○利府塩釜線、東部路線、西部路線(利府町)		
大和町		○仙台～加美線、仙台～大衡線(宮城交通)	○泉ヶ丘大富線、新富谷ガーデンシティ線、泉パークタウン線、吉岡線(宮城交通)	○北部黒川病院線(富谷市) ○黒川病院線(大郷町)	○大和町町民バス(大和町) ○デマンドタクシー(大和町)	
大郷町				○黒川病院線、山崎経由松島線、鹿島台線、川内経由松島線、利府塩釜線、不来内経由松島線(大郷町)	○大郷町住民バス(大郷町)	
大衡村		○仙台～加美線、仙台～大衡線(宮城交通)		○三本木大衡線(大崎市)	○大衡村デマンド型交通(大衡村)	

※1:県内発着路線のみ掲載
※2:サービス名のみ掲載し、個別の路線名は省略

(参考)レンタサイクル・電動キックボードの運行状況

市町村名	貸出場所	問い合わせ先
仙台市	市内134カ所、電動アシスト、GPS、クレジット決済	DATE BIKE
		秋保・里センター
	仙台市地下鉄東西線荒井駅、JRフルーツパーク仙台あらはま、アクアイグニス仙台	Uminote cycle
	仙台市都心部	株式会社Luup
塩竈市	塩竈市観光案内所「しおナビプラザ」	塩竈市観光物産協会
名取市	センター内窓口	名取駅コミュニティプラザ
多賀城市	多賀城駅	名取市サイクルスポーツセンター
岩沼市	千年希望の丘交流センター	多賀城市観光協会
亘理町	亘理駅西自転車等駐車場	千年希望の丘交流センター
山元町	山元町農水産物直売所(やまもと夢いちごの郷)	亘理町観光協会
	山元町防災拠点・山下地域交流センター(つばめの杜ひだまりホール)	(株)やまもと地域振興公社
松島町	あいばら商店	山元町防災拠点・山下地域交流センター(つばめの杜ひだまりホール)
大和町	宮城県松島離宮	あいばら商店
	南川ダム資料館	宮城県松島離宮
		南川ダム資料館

(2)地域間幹線系統

当該圏域の地域間幹線系統は4系統であり、全ての系統が国庫補助の要件の一つである輸送量15.0以上を満たしているものの、ゴルフ場線（塩竈市）と秋保線（仙台市～川崎町）については輸送量20.0を下回っているなど、辛うじて輸送量要件を満たす状況にある。

また、4系統中3系統が平均乗車密度5.0を下回っており、国庫補助が満額交付されない状況（密度カットの対象）となっている。

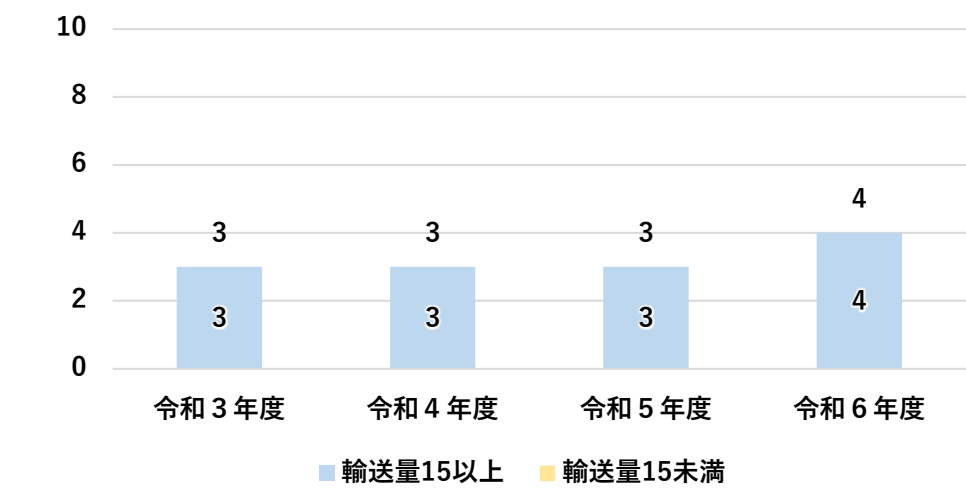


図 地域間幹線系統の推移

出典：交通事業者輸送実績資料（令和3年～令和5年）
運行系統別輸送実績及び平均乗車密度算定表（令和6年）

表 地域間幹線系統一覧(令和5年10月から令和6年9月運行実績)

番号	圏域	事業者名	路線名	起点	経由地	終点	実車走行キロ(km)	運行回数(回/日)	平均乗車密度	輸送量
1	仙台圏域	ミヤコーバス	利府	塩釜営業所	利府役場前 利府高校前	しらかし台	96,815.5	10.3	4.1	42.2
2	仙台圏域	ミヤコーバス	ゴルフ場	マリンゲート塩釜	ゴルフ場	千賀の台西	27,795.5	5.7	3.0	17.1
3	仙台圏域	ミヤコーバス	吉岡	泉中央駅	七北田	道下	188,461.0	14.3	5.1	72.9
4	仙台圏域、 仙南圏域	宮城交通	秋保（川崎）	仙台駅前	茂庭	川崎	77,312.3	3.3	4.6	15.1

出典：運行系統別輸送実績及び平均乗車密度算定表(令和6年)

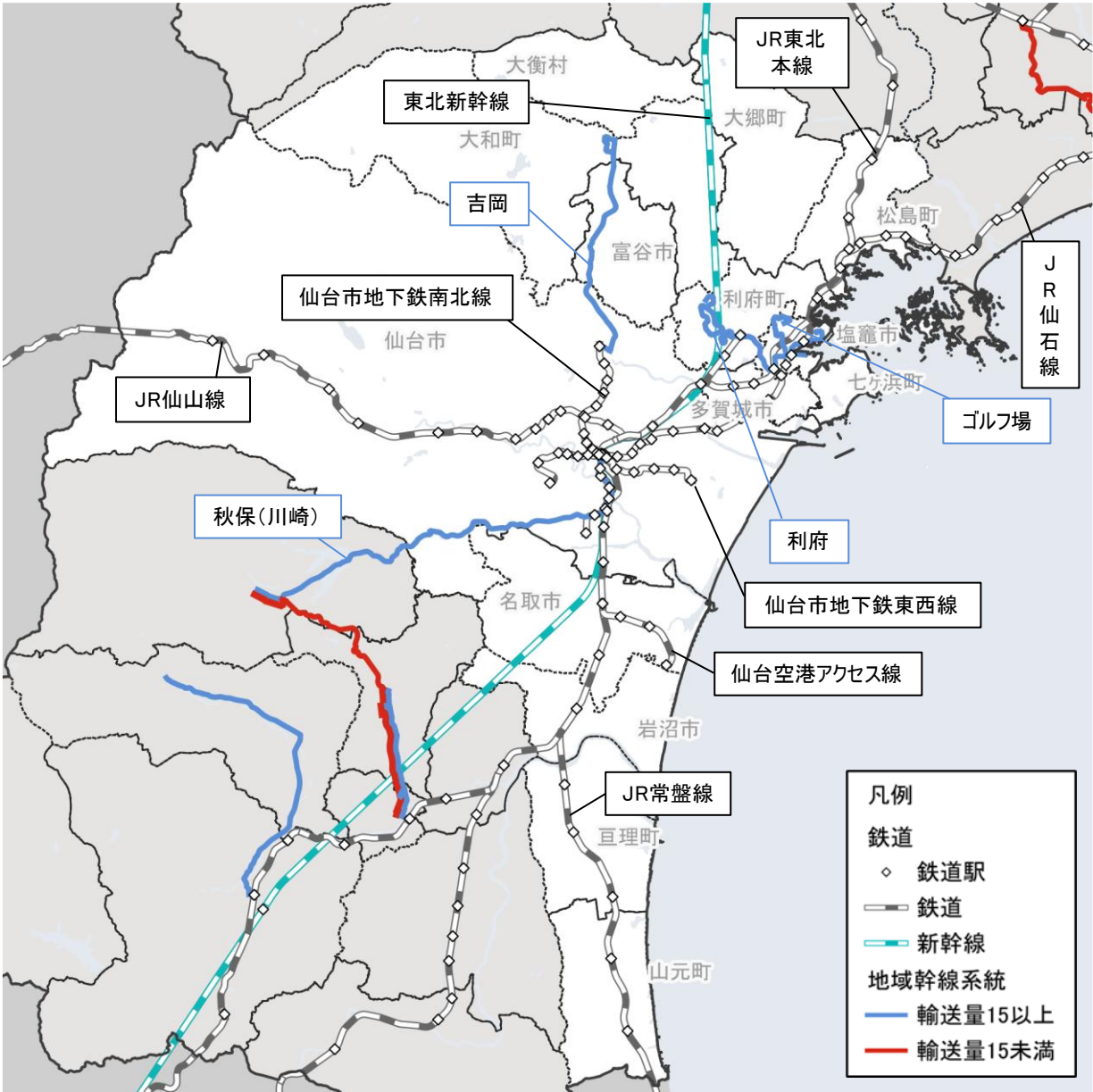


図 地域内幹線系統の運行状況(仙台圏域)

(3)地域内フィーダー系統

当該圏域では、仙台市、大和町が運行する域内交通に対して、地域内フィーダー系統の補助を活用している。

表 当該圏域の地域内フィーダー系統一覧

市町村名	路線名	運行主体	運行事業者	接続する地域間幹線系統等	接続場所
仙台市	仙台都心循環線	宮城交通	宮城交通	秋保線（川崎）	仙台駅前
	つぼぬま号	仙台市	KM 仙台タクシー	秋保線（川崎）	生出中学校前
	ハツ森号		相互タクシー	JR 仙山線	作並駅、愛子駅、陸前落合駅
	ぐるりんあきう		秋保交通	西部ライナー	秋保、里センター
大和町	大和町町民バス	大和町	大和町	吉岡線	大和町バスターミナル

出典：提供資料

(4)公共交通への財政負担額

当該圏域の民間・地域運行の公共交通に対する補助額について、令和２年度から令和４年度にかけて増加傾向にあったが、令和５年度には令和３年度の値に戻っている。

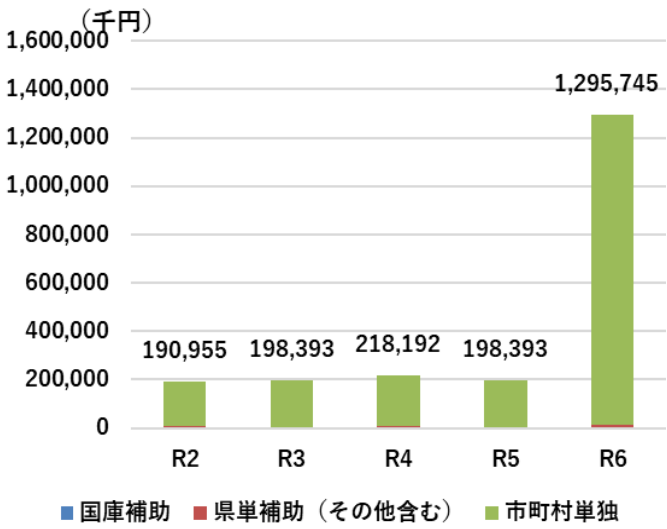


図 公共交通への負担額（民間・地域運行）

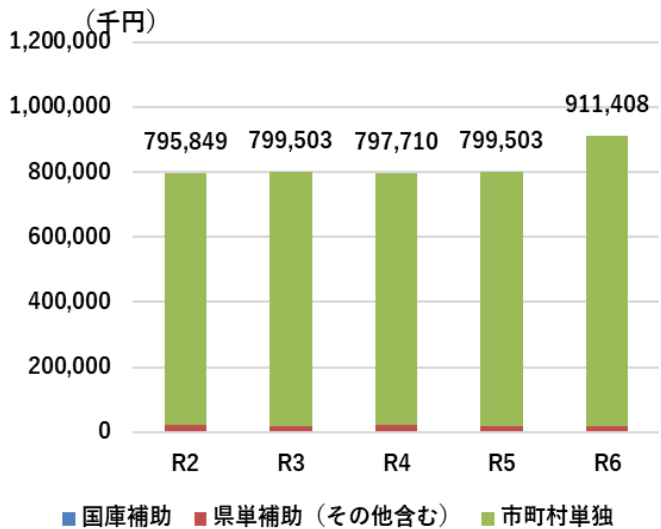


図 公共交通への負担額（市町村営）

出典：地方バス路線運行維持対策に要する経費に関する調査

(5)公共交通に関する計画の策定状況

当該圏域では、14 自治体中 7 自治体が計画を策定しており、3 自治体が策定中、4 自治体が未策定（未定）である。

表 地域公共交通計画等(旧制度含む)の策定状況
2025 年 8 月時点

市町村名	地域公共交通計画等(旧制度含む)の策定状況			市町村名	地域公共交通計画等(旧制度含む)の策定状況		
	区分	策定（予定）時期	備考		区分	策定（予定）時期	備考
仙台市	策定済み		令和8年度末期間満了	山元町	策定済み		令和12年度末期間満了
塩竈市	未策定	未定		松島町	未策定	未定	
名取市	策定済み		令和9年度末期間満了	七ヶ浜町	未策定	未定	
多賀城市	策定中	令和8年4月～		利府町	策定済み		令和10年度末期間満了
岩沼市	未策定	未定		大和町	策定済み		令和10年度末期間満了
富谷市	策定済み		令和11年度末期間満了	大郷町	策定中	令和9年3月～	
亘理町	策定済み		令和10年度末期間満了	大衡村	策定中	令和7年2月～	令和8年度末期間満了

- （参考）今後整理予定の項目
- ・時間帯別の移動実態の整理（ビッグデータの分析）
 - ・通院流動（レセプトデータの分析）
 - ・高校通学実態（高校アンケートの分析）

■大崎・栗原圏域

1. 圏域の概況

(1)位置、地勢

当該圏域は県の北側に位置しており、栗原市、大崎市、加美町、色麻町、美里町、涌谷町の2市4町から構成される。

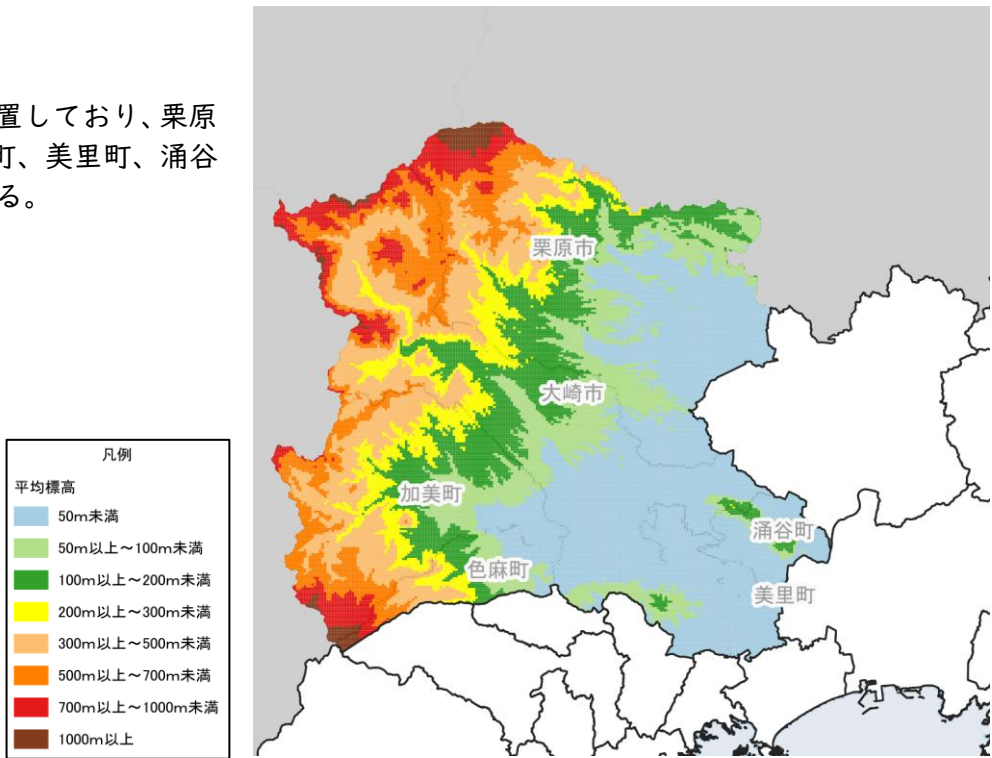


図 圏域の位置、地勢

出典：国土数値情報

(2)人口の推移等

当該圏域の人口は平成2年から令和2年まで減少傾向にある。今後も継続して減少する見込みであり、令和12年には224千人となることが予測される。

一方、高齢化率は増加傾向にあり、令和12年には39.1%と令和2年から4.5ポイント増加する見込みである。

県内外の転入、転出者数はほぼ横ばいで推移しているが、毎年一貫して転出者数が転入者数を上回っており、社会増減数はすべての年度でマイナスとなっている。

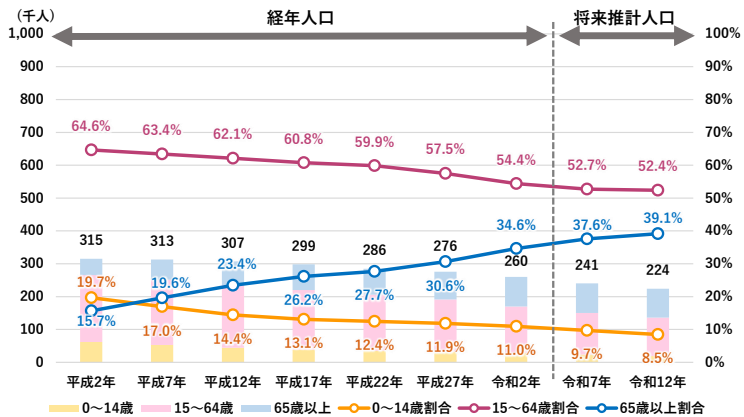


図 当該圏域の人口推移

※平成2年～平成22年では総数のみ「年齢不詳人口」を含む

出典：国勢調査 男女別人口及び年齢別割合 第6表（平成2年～令和12年）

国立社会保障・人口問題研究所

日本の地域別将来推計人口（令和5年推計）

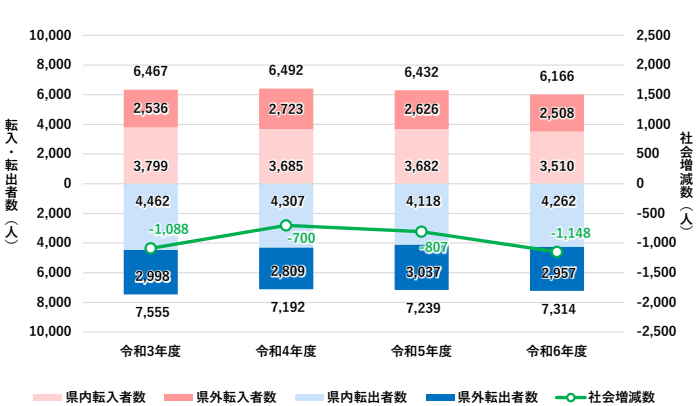


図 当該圏域の社会増減の推移

※転入・転出者数の総数には「職権記載・その他」を含む

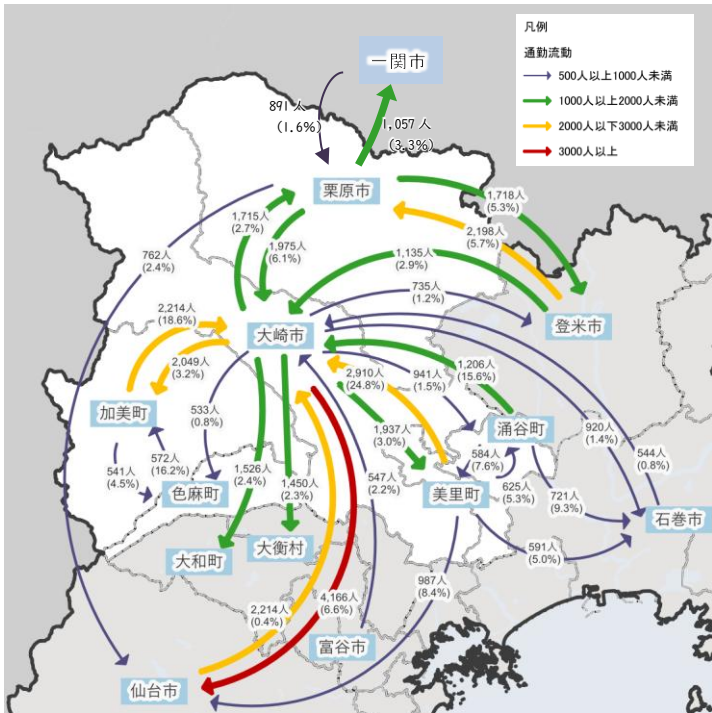
出典：国勢調査 推計人口年報 第1表（令和3年～令和6年）

(3)流動

1)通勤、通学流動

通勤流動は、栗原市（76.7%）、大崎市（69.5%）、加美町（62.8%）で半数以上の人口が自市町内で移動しており、栗原市、加美町、美里町、涌谷町の一部では大崎市への流動もみられる。

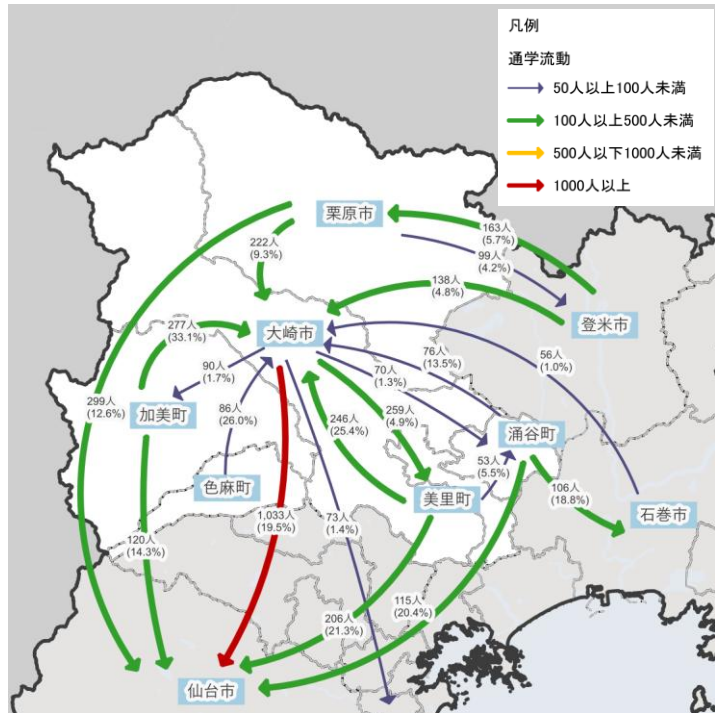
通学流動は、栗原市（59.6%）、大崎市（59.9%）で半数以上の人口が自市内で移動しており、栗原市、加美町、美里町の一部では大崎市への流動もみられる。



※500人未満非表示
ただし各市町村における最大値については表示

図 通勤流動(2020年)

出典：国勢調査 従業地・通学地による人口・就業状態等集計 第3表（令和2年）



※50人未満非表示
ただし各市町村における最大値については表示

図 通学流動(2020年)

表 通勤、通学流動量(合計、2020年)

移動量（通勤+通学）		単位：人																
通勤・通学先→ 居住地↓		大崎・栗原圏域						近隣市町村						その他				
		栗原市	大崎市	色麻町	加美町	涌谷町	美里町	大和町	大郷町	大衡村	石巻市	東松島市	南三陸町	登米市	仙台市	富谷市	一関市	
大崎・栗原圏域	栗原市	26,139	2,197	24	84	79	176	73	10	70	133	26	25	1,817	1,061	29	1,057	
	大崎市	1,757	47,375	568	2,139	1,011	2,196	1,554	435	1,450	969	232	15	744	5,199	427		
	色麻町	13	569	1,763	612	11	19	220	20	176	17	1	1	7	245	58		
	加美町	74	2,491	577	7,813	26	64	380	34	340	45	10	3	26	552	104		
	涌谷町	75	1,282	17	34	3,994	615	89	44	50	827	114	9	354	478	19		
近隣市町村	美里町	199	3,156	26	84	678	4,980	221	135	133	621	171	9	209	1,193	59		
	大和町	18	504	81	108	9	24	7,101	210	1,257	85	18	3	10	3,921	1,256		
	大郷町	9	191	6	17	9	19	417	1,694	126	37	23		5	696	143		
	大衡村	10	186	26	41	5	10	630	41	1,272	7	2		1	465	162		
	石巻市	69	600	9	8	493	279	143	88	51	55,849	3,141	122	751	2,987	62		
その他	東松島市	21	307	4	7	100	123	105	104	39	6,732	8,700	19	121	1,669	38		
	南三陸町	20	26	1	1	2	1	3			174	11	5,000	425	84	3		
	登米市	2,361	1,273	8	17	386	200	51	30	40	1,742	131	633	31,024	1,149	38		
	仙台市	369	2,260	93	198	88	227	5,339	450	1,457	1,775	351	49	272	481,024	5,702		
	富谷市	44	557	56	70	24	41	2,574	179	826	148	44	4	29	13,535	8,106		
	一関市	891	85	5	5	7	7	1	5	32	10	18	472	304	6	52,752		

2)通勤、通学時の移動手段

当該圏域の通勤、通学時の移動手段は、自家用車が79.7%と最も高く、次いで徒歩、自転車が9.9%と続いている。公共交通が7.7%（乗合バス等（2.1%）、鉄道（5.6%））を占め、公共交通の分担率が最も高い仙台圏域（28.8%）と21.1ポイントの差がある。

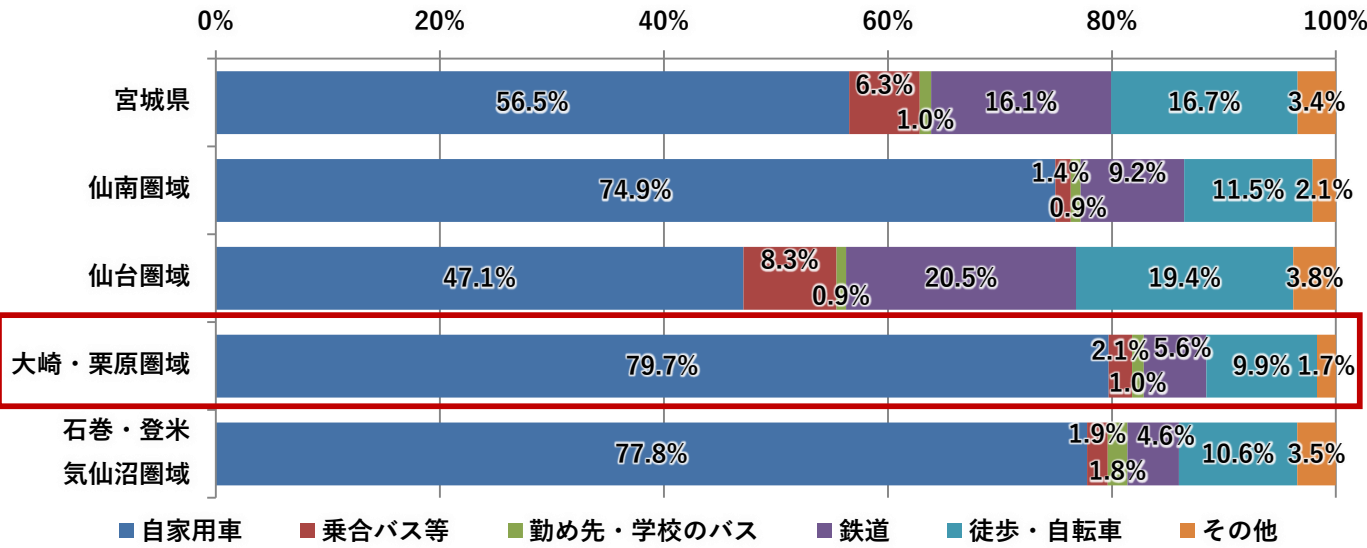


図 通勤、通学時の移動手段(2020 年)
出典：国勢調査 従業地・通学地による人口・就業状態等集計 第18表（令和2年）

3)買い物流動(最寄り品)

市町村間をまたぐ買い物流動は、大崎市に対して、同圏域内すべての市町からの流入が見られ、他圏域の松島町、大郷町からも流入している。



※5%未満の流動は非表示
※図中の割合は消費購買動向調査（サンプル調査）の回答者を母数としており、該当市町村の総人口を母数とするものではない点に留意
図 買い物流動(最寄り品、2021 年度)
出典：消費購買動向調査（令和3年度）

(4)観光入込客数等

施設利用者は、鳴子温泉で50～100万人となっているほか、いわかがみ平（栗駒山）や中山平温泉で10～50万人の施設利用がみられる。

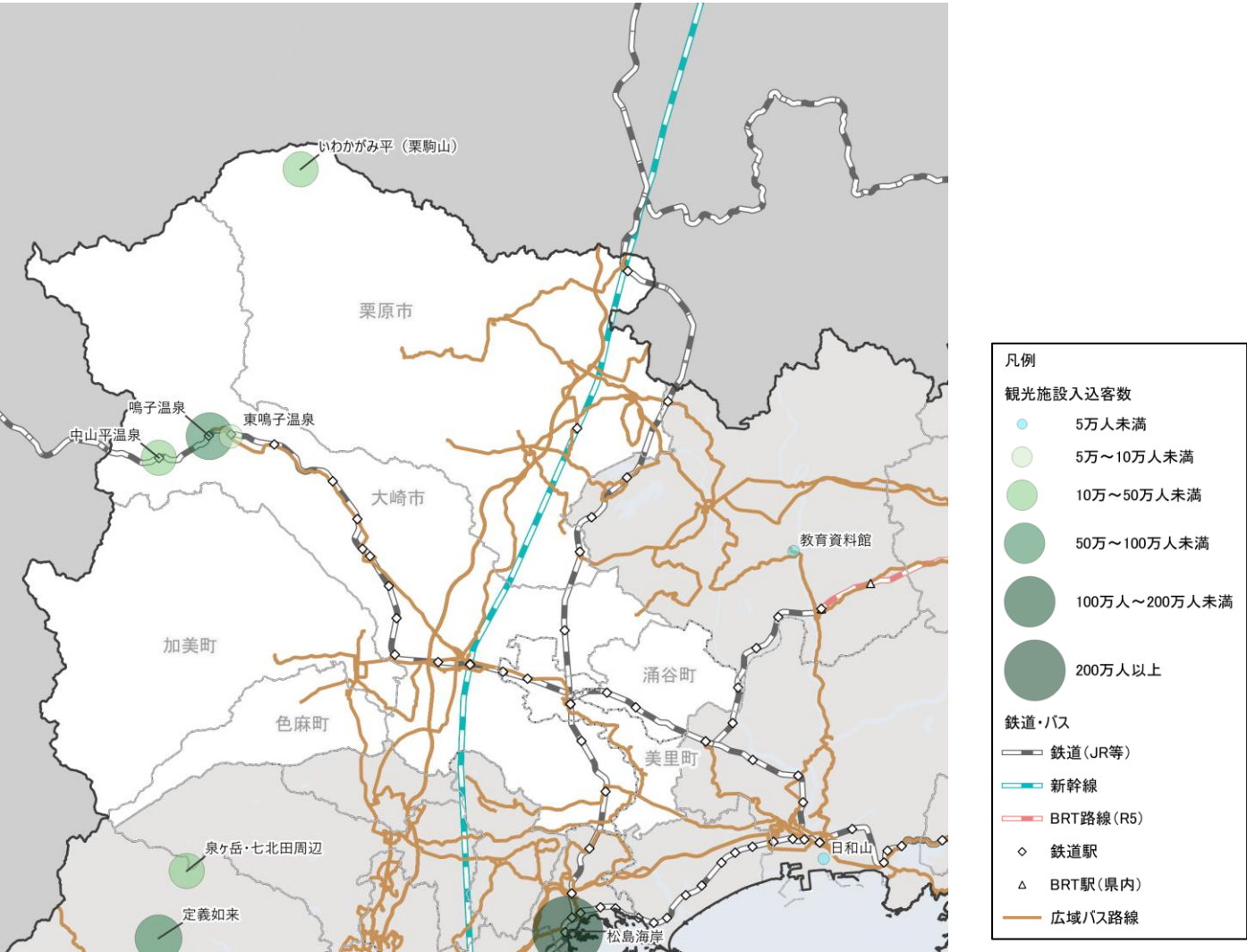


図 施設利用者数(2023 年)
出典：宮城県観光統計概要 表8（令和5年）

2. 公共交通の概況

(1)運行状況

当該圏域では、地域間幹線系統（国庫補助路線）Ⅰ系統のほか、補助を受けていない広域路線バスが運行している。鉄道は東北新幹線をはじめ、JR 東北本線、JR 陸羽東などの 6 路線が運行している。

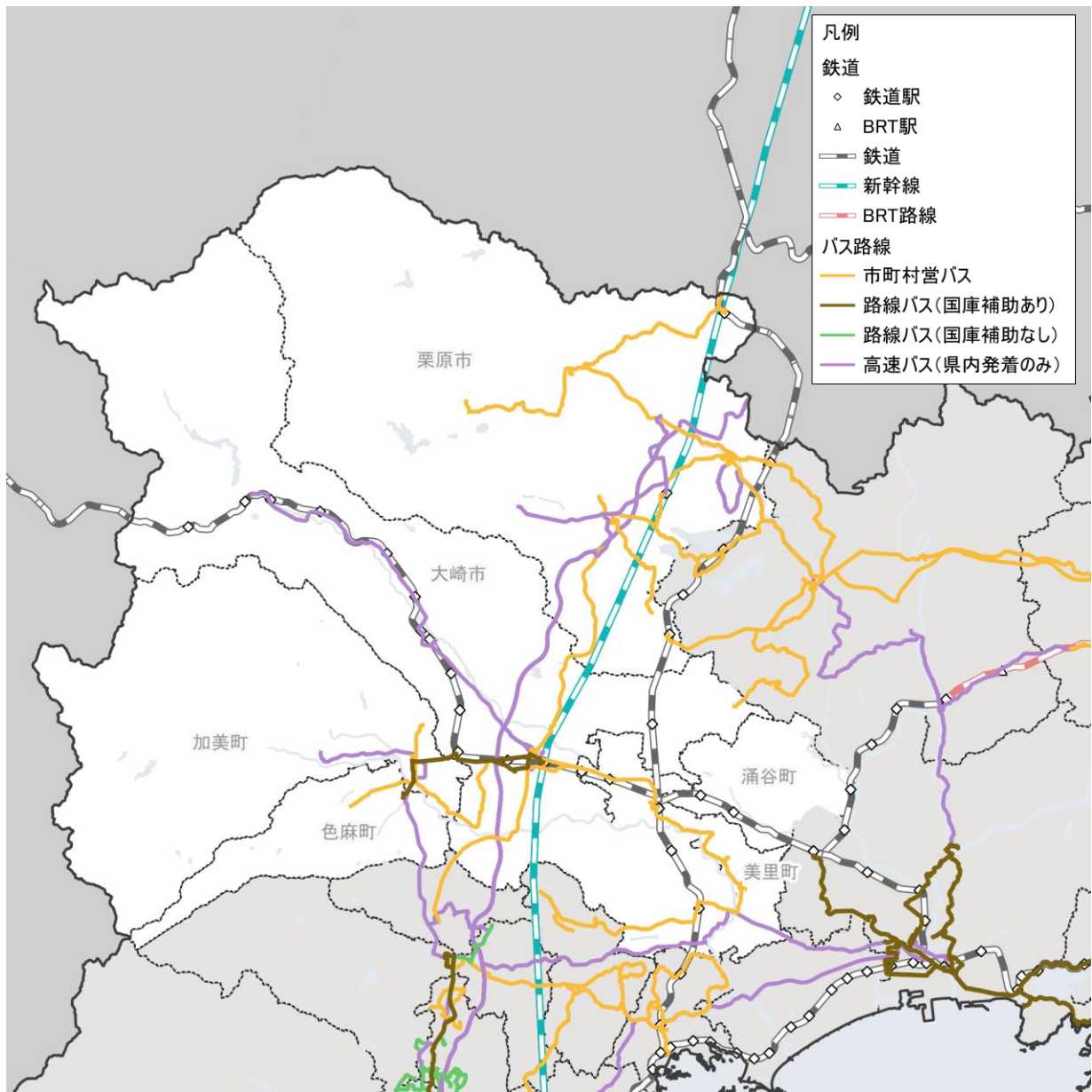


図 公共交通の運行状況(大崎・栗原圏域)

表 運行する公共交通サービス一覧

市町村名	鉄道	高速バス※1	路線バス(広域)	市町村営バス(広域)	域内交通※2	離島航路
栗原市	○東北新幹線、東北本線(JR東日本)	○仙台～登米市役所(ミヤコーバス) ○仙台～登米市役所、仙台～栗原市金成庁舎、仙台～一迫総合支所(東日本急行)		○南方線、新田線、石越線(登米市) ○築館古川線(栗原市・大崎市) ○くりはら田園線、若柳線、玉沢線、横須賀線(栗原市)	○栗原市市民バス(栗原市) ○乗合デマンド交通(栗原市)	
大崎市	東北新幹線、東北本線、陸羽東線(JR東日本)	○鳴子～仙台、古川～仙台(ミヤコーバス) ○仙台～古川(JRバス東北)	○色麻線(ミヤコーバス)	○米山佐沼線(登米市) ○三本木大衡線、高倉線(大崎市) ○鹿島台線(大郷町) ○美里線(美里町) ○築館古川線(栗原市・大崎市)	○大崎市市民バス(大崎市) ○乗合タクシー(大崎市) ○乗合デマンド交通(大崎市)	
色麻町		○加美～仙台(ミヤコーバス)	○色麻線(ミヤコーバス)	○加美農線(加美町)		
加美町		○仙台～加美線(ミヤコーバス)	○色麻線(ミヤコーバス)	○加美農線(加美町) ○高倉線(大崎市)	○加美町町民バス(加美町) ○デマンド交通(加美町)	
涌谷町	石巻線、気仙沼線(JR東日本)				○涌谷町町民バス(涌谷町)	
美里町	東北本線、石巻線、陸羽東線(JR東日本)			○美里線(美里町)	○美里町町民バス(美里町) ○美里町デマンドタクシー(美里町)	

※1: 県内発着路線のみ掲載
※2: サービス名のみ掲載し、個別の路線名は省略

(参考)レンタサイクル・電動キックボードの運行状況

市町村名	貸出場所	問い合わせ先
栗原市	栗原市観光案内所(くりこま高原駅) 栗原市観光案内所(くりこま高原駅)、栗駒山麓ジオパークビジターセンター、花山農山村交流センター(ふるさと交流館)	栗原市観光物産協会
大崎市	三之壱湯 藤島旅館・旅館ゆさ 旅館大沼 道の駅おおさき	中山平温泉観光協会(三之壱湯) 川渡温泉観光協会(旅館ゆさ) 東鳴子温泉旅館大沼 道の駅おおさき
色麻町	—	—
加美町	やくらい薬師の湯 陶芸の里ゆ～らんど 加美町中新田B&G海洋センター	やくらい薬師の湯 陶芸の里ゆ～らんど 加美町中新田B&G海洋センター
涌谷町	—	—
美里町	美里町総合案内所	美里町総合案内所

(2)地域間幹線系統

当該圏域の地域間幹線系統は1系統であり、国庫補助の要件の一つである輸送量15.0以上を満たしている。

なお、平均乗車密度5.0を下回っており、国庫補助が満額交付されない状況（密度カットの対象）となっている。

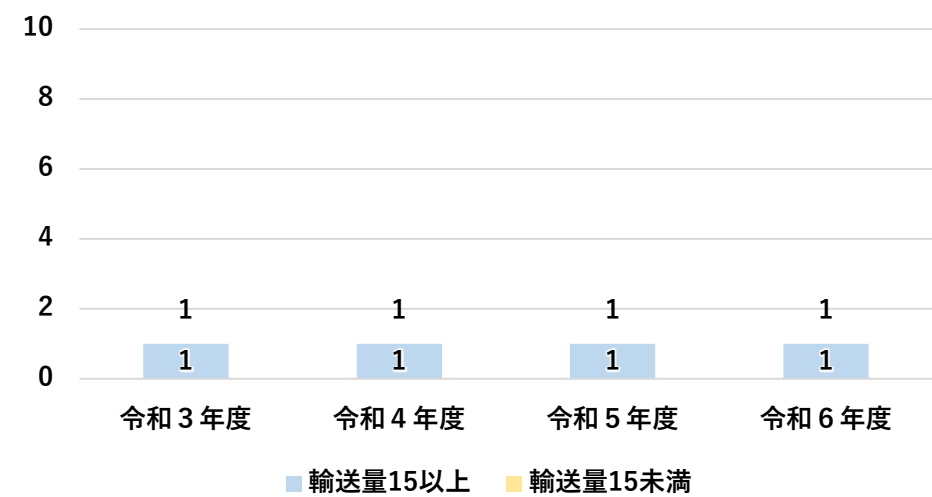


図 地域間幹線系統の推移

出典：交通事業者輸送実績資料（令和3年～令和5年）
運行系統別輸送実績及び平均乗車密度算定表（令和6年）

表 地域間幹線系統一覧(令和5年10月から令和6年9月運行実績)

番号	圏域	事業者名	路線名	起点	経由地	終点	実車走行キロ(km)	運行回数(回/日)	平均乗車密度	輸送量
1	大崎・栗原圏域	ミヤコーバス	色麻	古川駅前	塚の目	色麻町役場	65,335.0	11.2	3.6	40.3

出典：運行系統別輸送実績及び平均乗車密度算定表（令和6年）

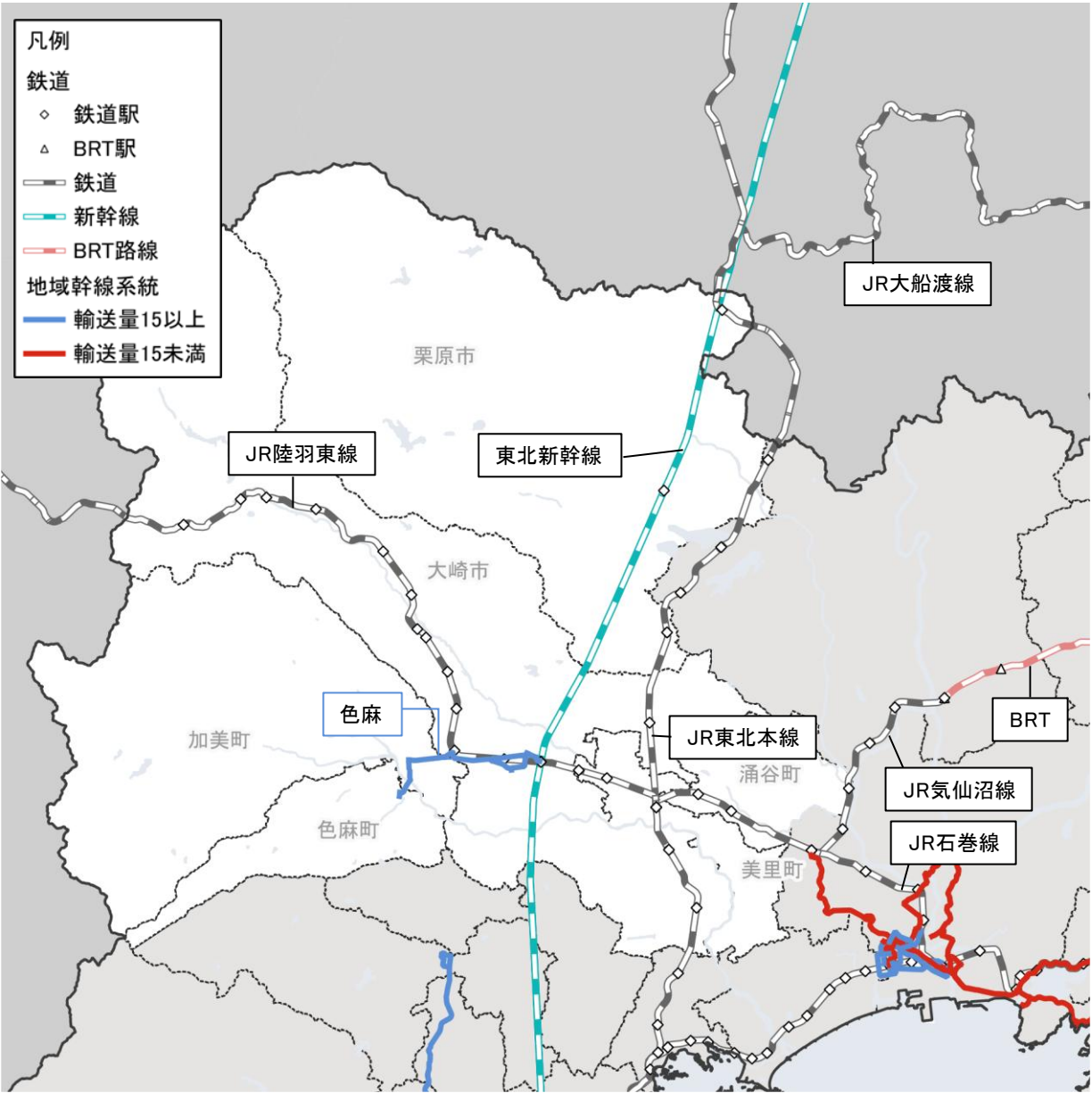


図 地域内幹線系統の運行状況(大崎・栗原圏域)

(3)地域内フィーダー系統

当該圏域では、大崎市が運行する域内交通に対して、地域内フィーダー系統の補助を活用している。

表 当該圏域の地域内フィーダー系統一覧

市町村名	路線名	運行主体	運行事業者	接続する地域間幹線系統等	接続場所
大崎市	中心市街地循環便	ミヤコーバス	ミヤコーバス	色麻線	古川駅
	やまゆり、もみの木	大崎市	宝殿	JR 陸羽東線	岩出山駅
	鬼っこ号	大崎市	鳴子中央タクシー	JR 陸羽東線	鳴子温泉駅

出典：提供資料

(4)公共交通への財政負担額

当該圏域の公共交通に対する補助額は、令和2年度から令和4年度にかけて増加傾向にあった。令和4年度から令和5年度にかけては減少しているものの、令和6年度には約11,000千円増加している。

市町村営の公共交通に対する負担額について、令和2年度から令和5年度にかけて概ね横ばい傾向にあり、令和6年度には微減となっている。

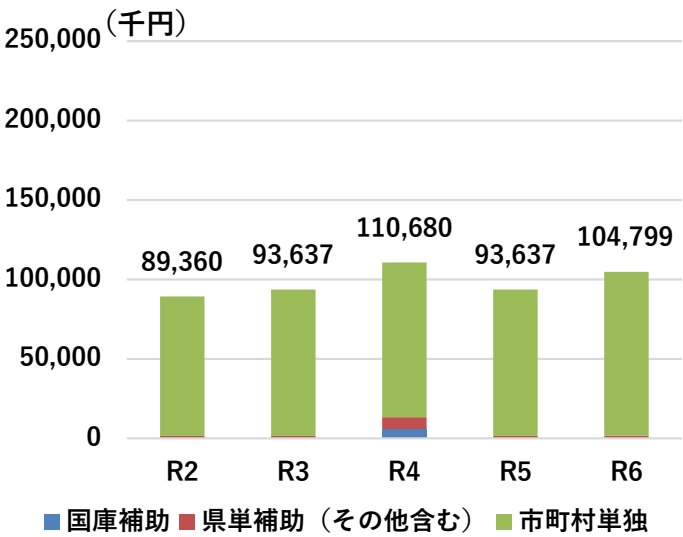


図 公共交通への負担額（民間・地域運行）

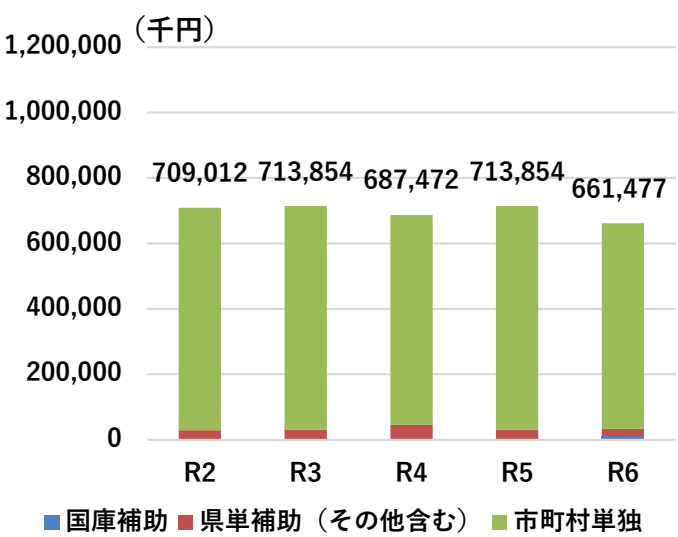


図 公共交通への負担額（市町村営）

出典：地方バス路線運行維持対策に要する経費に関する調査

(5)公共交通に関する計画の策定状況

当該圏域では、6自治体中3自治体が計画を策定しており、1自治体が策定中、2自治体が未策定（未定）である。

表 地域公共交通計画等(旧制度含む)の策定状況
2025年8月時点

市町村名	地域公共交通計画等(旧制度含む)の策定状況		
	区分	策定（予定）時期	備考
栗原市	策定済み		令和10年度末期間満了
大崎市	策定済み		令和8年度末期間満了
色麻町	未策定	未定	
加美町	未策定	未定	
涌谷町	策定済み		令和12年度末期間満了
美里町	策定中	未定	令和4年度末期間満了

- (参考) 今後整理予定の項目
- ・時間帯別の移動実態の整理（ビッグデータの分析）
 - ・通院流動（レセプトデータの分析）
 - ・高校通学実態（高校アンケートの分析）

■石巻・登米・気仙沼圏域

1. 圏域の概況

(1)位置、地勢

当該圏域は県の東側に位置しており、登米市、気仙沼市、石巻市、東松島市、南三陸町、女川町の4市2町から構成される。

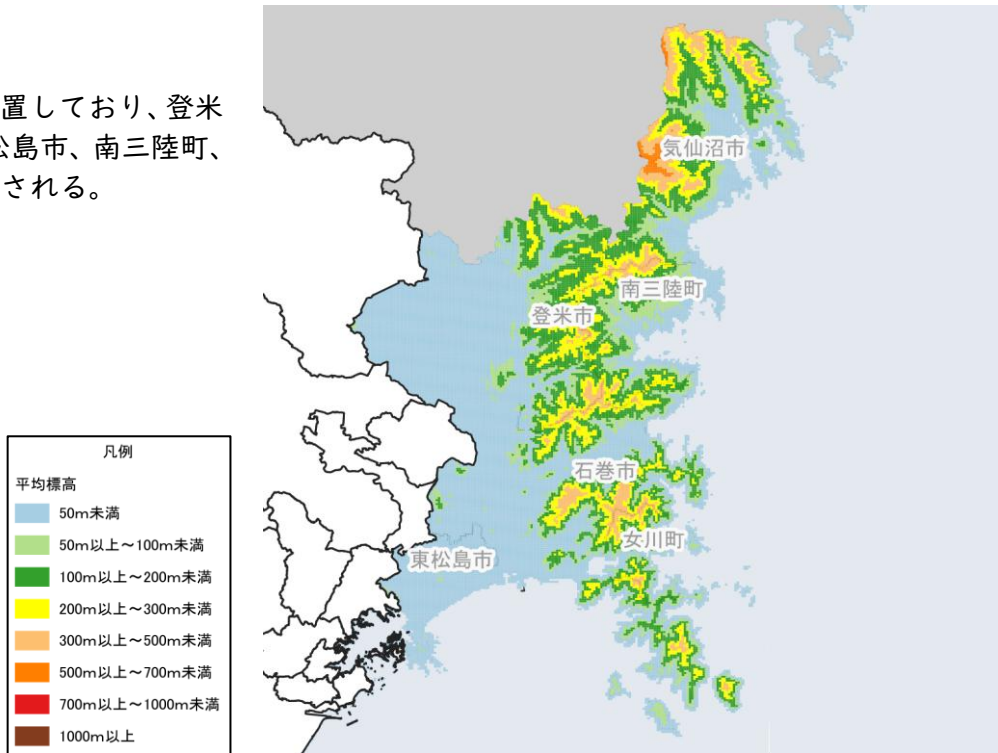


図 圏域の位置、地勢

出典：国土数値情報

(2)人口の推移等

当該圏域の人口は平成2年から令和2年まで減少傾向にある。今後も継続して減少する見込みであり、令和12年には286千人となることが予測される。

一方、高齢化率は増加傾向にあり、令和12年には38.9%と令和2年から4.2ポイント増加する見込みである。

県内外の転入、転出者数はほぼ横ばいで推移しているが、毎年一貫して転出者数が転入者数を上回っており、社会増減数はすべての年度でマイナスとなっている。

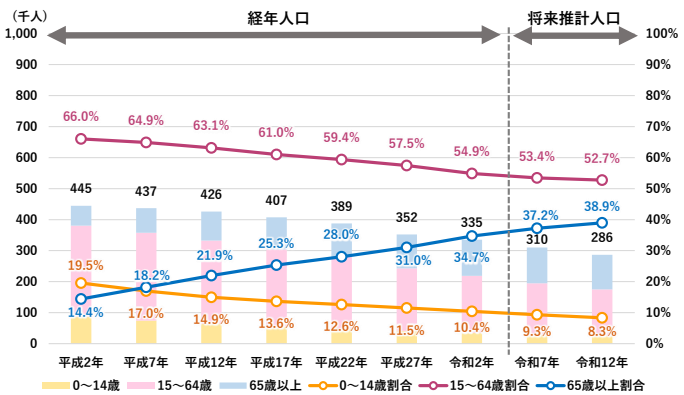


図 当該圏域の人口推移

※平成2年～平成22年では総数のみ「年齢不詳人口」を含む

出典：国勢調査 男女別人口及び年齢別割合 第6表（平成2年～令和12年）

国立社会保障・人口問題研究所

日本の地域別将来推計人口（令和5年推計）

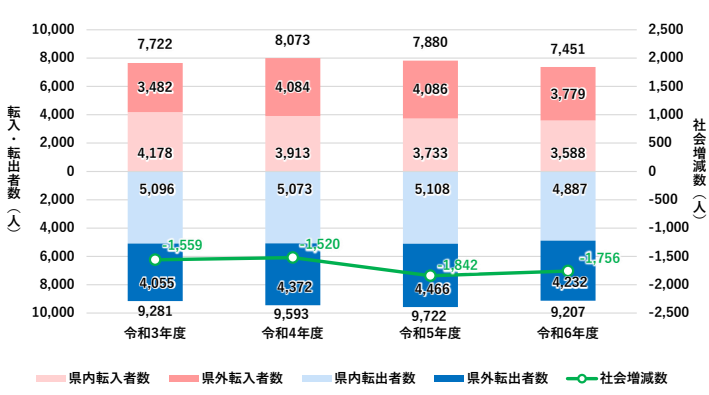


図 当該圏域の社会増減の推移

※転入・転出者数の総数には「職権記載・その他」を含む

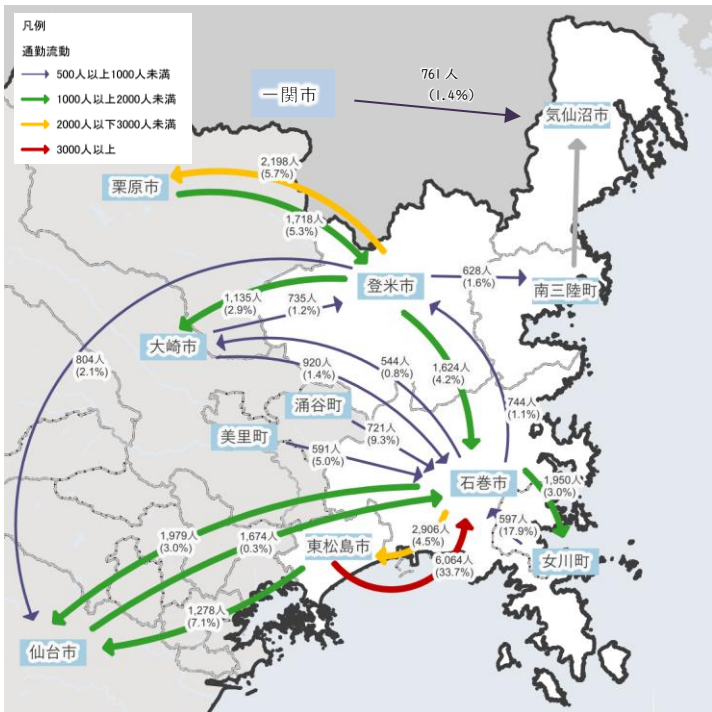
出典：国勢調査 推計人口年報 第1表（令和3年～令和6年）

(3)流動

1)通勤、通学流動

通勤流動は、気仙沼市（89.0%）、石巻市（80.1%）、女川町（77.3%）、南三陸町（77.6%）、登米市（75.4%）で半数以上の人口が自市町内で移動しており、登米市、仙台市の一部では石巻市への流動もみられる。

通学流動は、気仙沼市（89.0%）、石巻市（66.6%）、南三陸町（52.8%）、登米市（60.0%）で半数以上の人口が自市町内で移動しており、登米市、涌谷町、仙台市の一部では石巻市への流動もみられる。

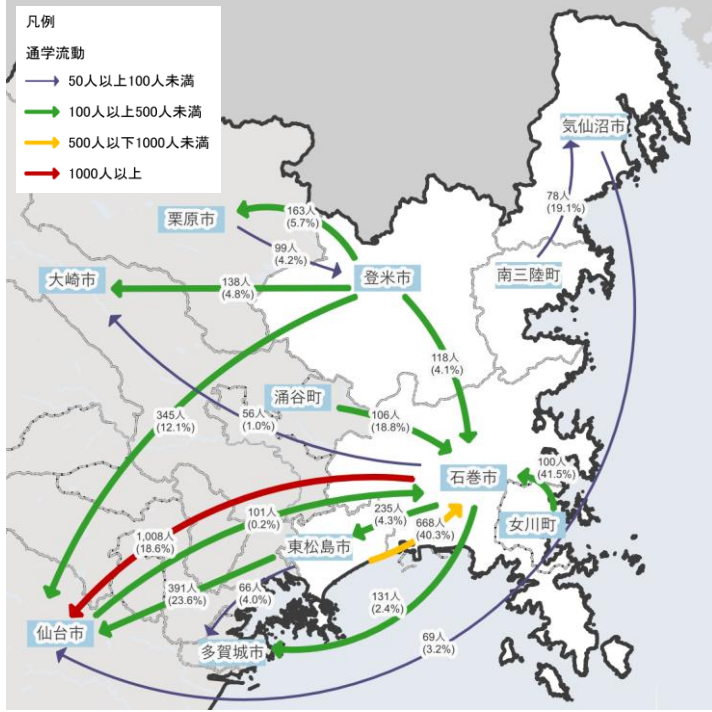


※500人未満非表示

ただし各市町村における最大値については表示

図 通勤流動(2020年)

出典：国勢調査 従業地・通学地による人口・就業状態等集計 第3表（令和2年）



※50人未満非表示

ただし各市町村における最大値については表示

図 通学流動(2020年)

表 通勤、通学流動量(合計、2020年)

移動量（通勤+通学）

単位：人

通勤・通学先→ 居住地↓	石巻・登米・気仙沼圏域						近隣市町村				その他		
	石巻市	東松島市	女川町	気仙沼市	南三陸町	登米市	涌谷町	美里町	大崎市	栗原市	仙台市	多賀城市	一関市
石巻・登米・気仙沼圏域	石巻市	55,849	3,141	1,955	100	122	751	493	279	600	69	2,987	335
	東松島市	6,732	8,700	174	20	19	121	100	123	307	21	1,669	231
	女川町	697	38	2,673	3	2	5	1	3	4	4	57	4
	気仙沼市	91	3	9	27,488	417	192	1	12	14	175	8	
	南三陸町	174	11	8	530	5,000	425	2	26	20	84	6	
近隣市町村	登米市	1,742	131	32	263	633	31,024	386	200	1,273	2,361	1,149	167
	涌谷町	827	114	17	11	9	354	3,994	615	1,282	75	478	38
	美里町	621	171	12	17	9	209	678	4,980	3,156	199	1,193	80
	大崎市	969	232	31	51	15	744	1,011	2,196	47,375	1,757	5,199	243
その他	栗原市	133	26	6	38	25	1,817	79	176	2,197	26,139	1,061	41
	仙台市	1,775	351	146	244	49	272	88	227	2,260	369	481,024	6,304
	多賀城市	285	94	13	13	4	23	12	34	135	16	13,347	10,326
	一関市	32	10	1	761	18	472	5	7	85	891	304	3

2)通勤、通学時の移動手段

当該圏域の通勤、通学時の移動手段は、自家用車が77.8%と最も高く、次いで徒歩、自転車が10.6%と続いている。公共交通が6.5%（乗合バス等（1.9%）、鉄道（4.6%））を占め、公共交通の分担率が最も高い仙台圏域（28.8%）と22.3ポイントの差がある。

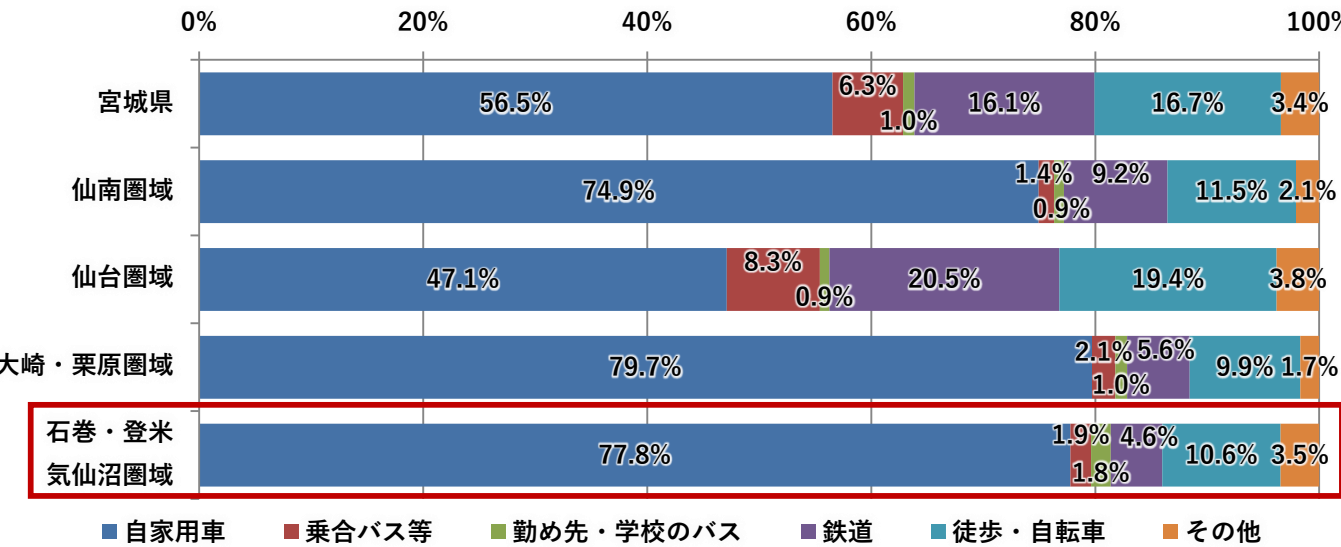
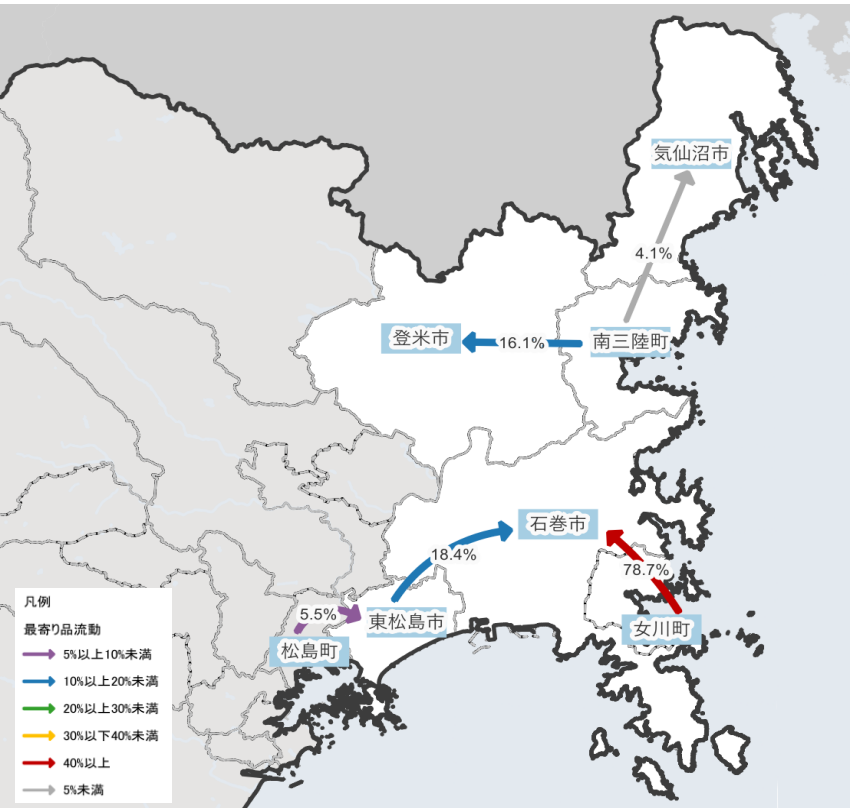


図 通勤、通学時の移動手段(2020 年)
出典：国勢調査 従業地・通学地による人口・就業状態等集計 第18表（令和2年）

3)買い物流動(最寄り品)

市町村間をまたぐ買い物流動は、石巻市に対して、東松島市、女川町からの流入が見られる。
一方で、東松島市に対しては他圏域の松島町からの流入が見られる。



※5%未満の流動は非表示。ただし、各市町村における最大値については表示
※図中の割合は消費購買動向調査（サンプル調査）の回答者を母数としており、該当市町村の総人口を母数とするものではない点に留意

図 買い物流動(最寄り品、2021 年度)
出典：消費購買動向調査（令和3年度）

(4)観光入込客数等

施設利用者は、唐桑半島や国立公園気仙沼大島、岩井崎園地で10～50万人の施設利用がみられる。

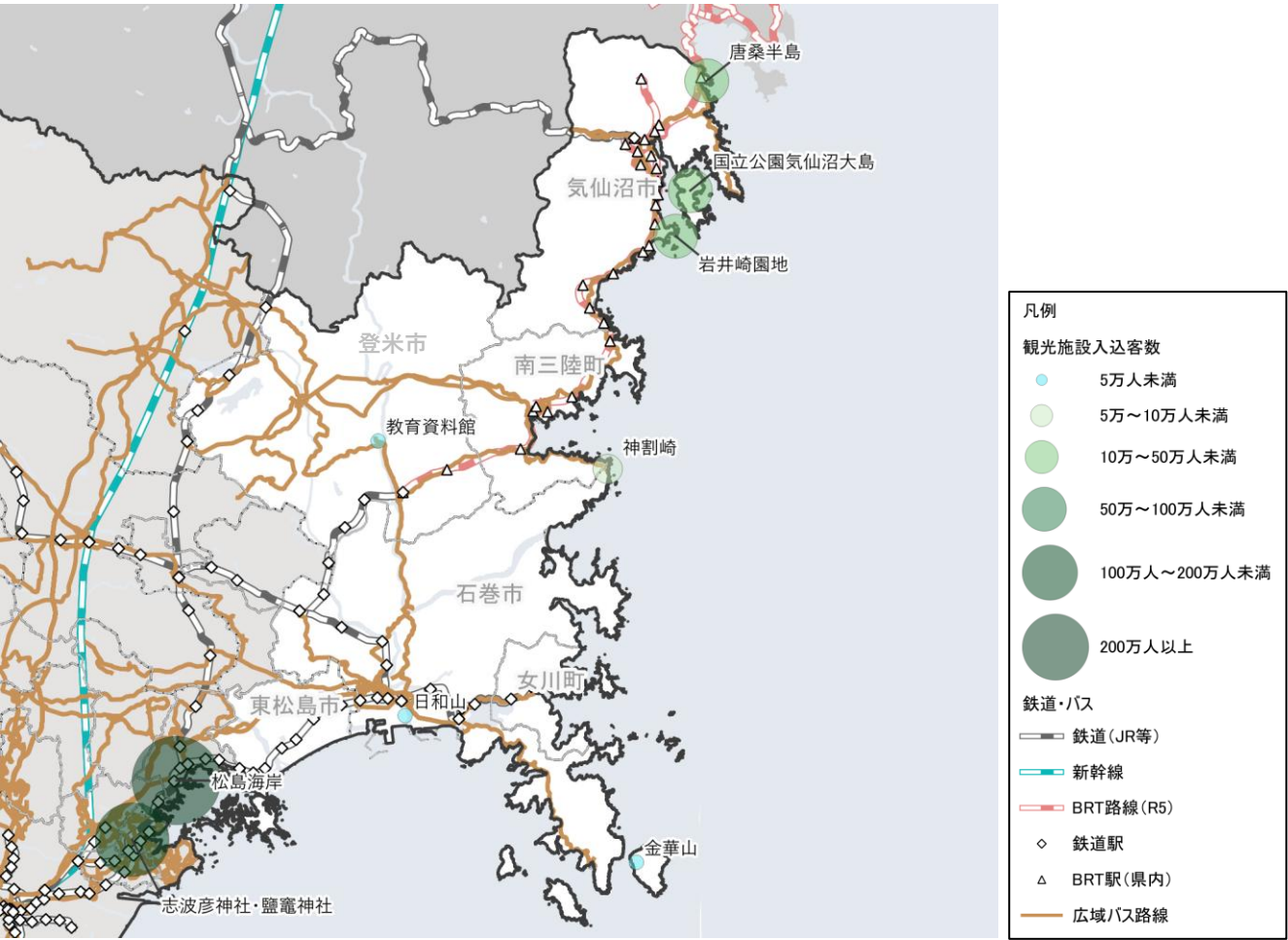


図 施設利用者数(2023 年)
出典：宮城県観光統計概要 表8（令和5年）

2. 公共交通の概況

(1)運行状況

当該圏域では、地域間幹線系統（国庫補助路線）8系統のほか、補助を受けていない広域路線バスが運行している。鉄道は JR 仙石線をはじめ、JR 石巻線、JR 気仙沼線、JR 大船渡線が運行している。

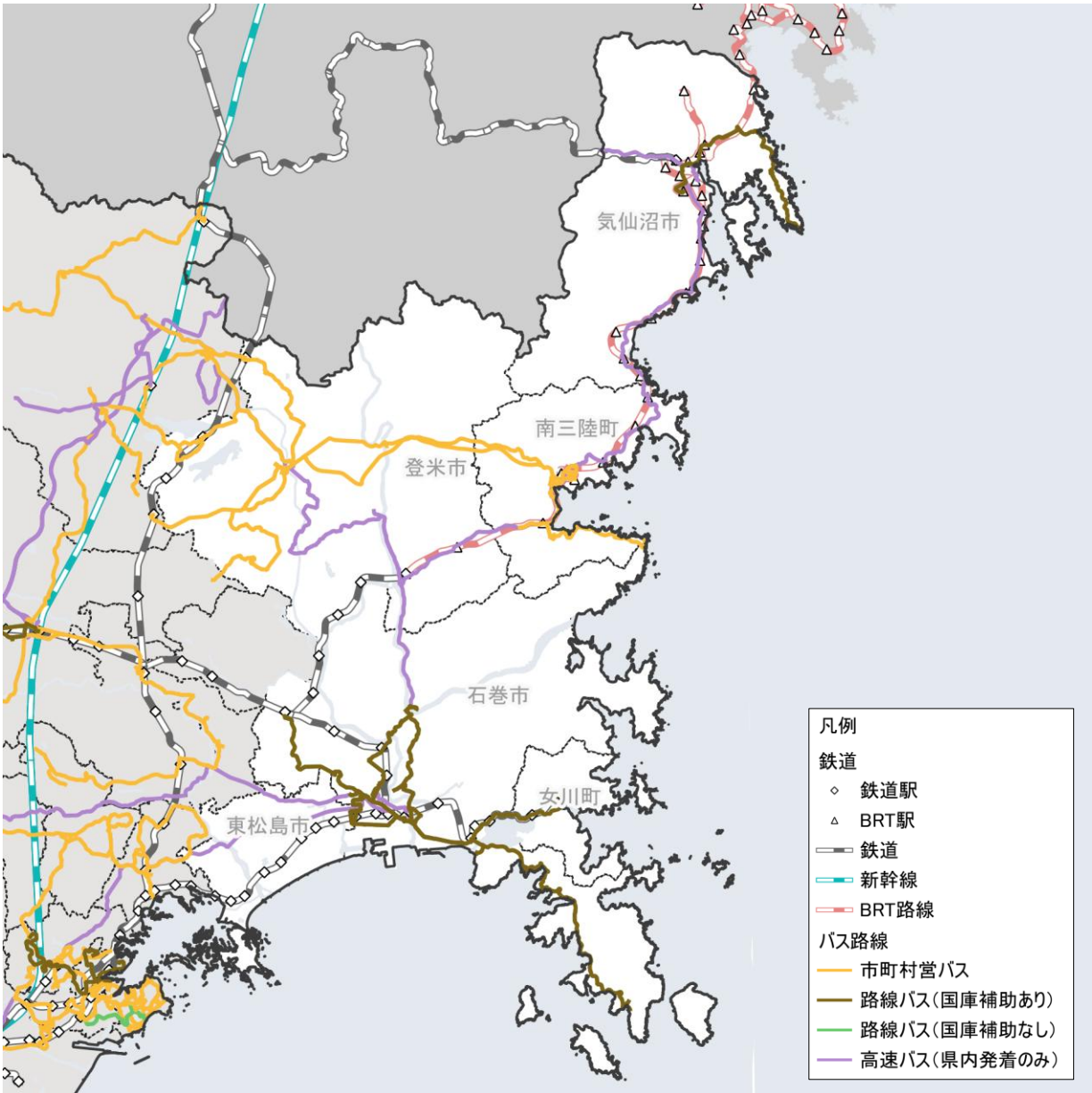


図 公共交通の運行状況(石巻・登米・気仙沼圏域)

表 運行する公共交通サービス一覧

市町村名	鉄道	高速バス※1	路線バス(広域)	市町村営バス(広域)	域内交通※2	離島航路
石巻市	○仙石線、石巻線、気仙沼線(JR東日本)	○石巻～仙台(ミヤコーバス) ○仙台～とよま総合支所(東日本急行)	○女川線、石巻免許センター線、鮎川線、河南線、河北線、蛇田線、石巻専修大学線(ミヤコーバス)	○戸倉線(南三陸町)	○石巻市市民バス(石巻市) ○乗合タクシー(石巻市) ○デマンド交通(石巻市)	○石巻～長渡航路(網地島ライン)
気仙沼市	○気仙沼線、大船渡線(JR東日本)	○気仙沼・南三陸～仙台(宮城交通)	○御崎線(ミヤコーバス)		○気仙沼市市民バス(気仙沼市) ○乗合タクシー(気仙沼市) ○デマンド交通(気仙沼市)	
登米市	○東北本線、気仙沼線(JR東日本)	○仙台～登米市役所(ミヤコーバス) ○仙台～登米市役所、仙台～とよま総合支所(東日本急行)		○米山佐沼線、南方線、新田線、石越線(登米市) ○くりはら田園線、若柳線、玉沢線、横須賀線(栗原市) ○志津川登米線(南三陸町)	○登米市市民バス(登米市) ○乗合タクシー(登米市)	
東松島市	○仙石線(JR東日本)		○石巻免許センター線、蛇田線(ミヤコーバス)	○北松島線(松島町)	○デマンド交通(東松島市)	
女川町	○石巻線(JR東日本)		○女川線(ミヤコーバス)		○女川町民バス(女川町)	○女川～江島航路(女川町)
南三陸町	○気仙沼線(JR東日本)	○気仙沼・南三陸～仙台(宮城交通)		○志津川登米線、戸倉線(南三陸町)	○南三陸町民バス(南三陸町) ○デマンド交通(南三陸町)	

※1: 県内発着路線のみ掲載
※2: サービス名のみ掲載し、個別の路線名は省略

(参考)レンタサイクル・電動キックボードの運行状況

市町村名	貸出場所	問い合わせ先
石巻市	田代島 市内8カ所、HP「海街さんぽ」から予約	マンガアイランド田代島 石巻圏観光推進機構
気仙沼市	気仙沼駅前観光案内所、気仙沼市観光サービスセンター、気仙沼大島ウエルカム・ターミナル、唐桑半島ビジターセンター、半造レストハウス	気仙沼市観光協会
登米市	水沢県庁記念館 長沼フートピア公園案内所	とよま振興公社 長沼フートピア公園
東松島市	奥松島イートプラザ あおみな KIBOTCHA 奥松島LANE HOTEL RISE BEACH	奥松島イートプラザ 奥松島遊覧船案内所 KIBOTCHA(キボッチャ) 奥松島LANE HOTEL(奥松島レーンホテル) RISE BEACH(ライズビーチ)
女川町	女川町たびの情報館ぶらっと	一般社団法人 女川町観光協会
南三陸町	南三陸さんさん商店街 南三陸ハマレ歌津(南三陸にぎわい創出グループレンタサイクル)	南三陸町観光協会 南三陸ハマレ歌津

(2)地域間幹線系統

当該圏域の地域間幹線系統は8系統であり、そのうち5系統（河南線、石巻専修大学線、河北線、鮎川線、女川線）が国庫補助の要件の一つである輸送量15.0以上を下回っている。また御崎線については輸送量20.0を下回っているなど、辛うじて輸送量要件を満たす状況にある。

また、8系統すべてが平均乗車密度5.0を下回っており、国庫補助が満額交付されない状況（密度カットの対象）となっている。

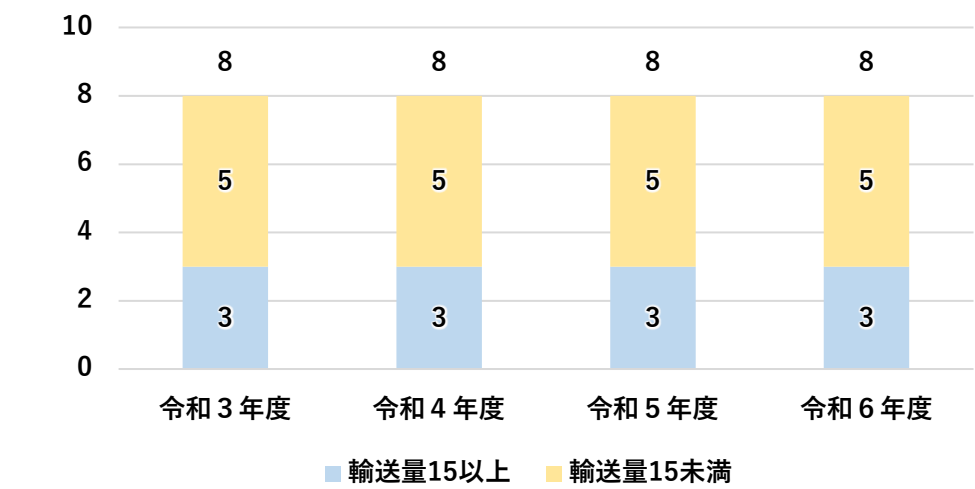


図 地域間幹線系統の推移

出典：交通事業者輸送実績資料（令和3年～令和5年）
運行系統別輸送実績及び平均乗車密度算定表（令和6年）

表 地域間幹線系統一覧(令和5年10月から令和6年9月運行実績)

番号	圏域	事業者名	路線名	起点	経由地	終点	実車走行キロ(km)	運行回数(回/日)	平均乗車密度	輸送量
1	石巻・登米・気仙沼圏域	ミヤコーバス	石巻免許センター	石巻駅前	大街道	日赤病院	98,381.0	10.2	2.8	28.5
2	石巻・登米・気仙沼圏域	ミヤコーバス	河南	石巻駅前	蛇田	河南総合支所	68,850.0	4.6	2.1	9.6
3	石巻・登米・気仙沼圏域	ミヤコーバス	石巻専修大学	石巻駅前	石巻専修大学 ルネッサンス館	飯野川	65,080.0	5.8	2.3	13.3
4	石巻・登米・気仙沼圏域	ミヤコーバス	河北	石巻あゆみ野駅	鹿又駅	飯野川	87,548.0	6.9	1.4	9.6
5	石巻・登米・気仙沼圏域	ミヤコーバス	鮎川	石巻駅前	筒場	鮎川港	66,066.0	5.6	1.6	8.9
6	石巻・登米・気仙沼圏域	ミヤコーバス	女川	石巻駅前	渡波駅前	女川運動公園	57,828.0	4.3	2.3	9.8
7	石巻・登米・気仙沼圏域	ミヤコーバス	蛇田	石巻駅前	蛇田	あゆみ野駅	21,058.0	9.2	2.2	20.2
8	石巻・登米・気仙沼圏域	ミヤコーバス	御崎	気仙沼市立病院	津本	御崎	67,372.8	6.8	2.3	15.6

出典：運行系統別輸送実績及び平均乗車密度算定表（令和6年）

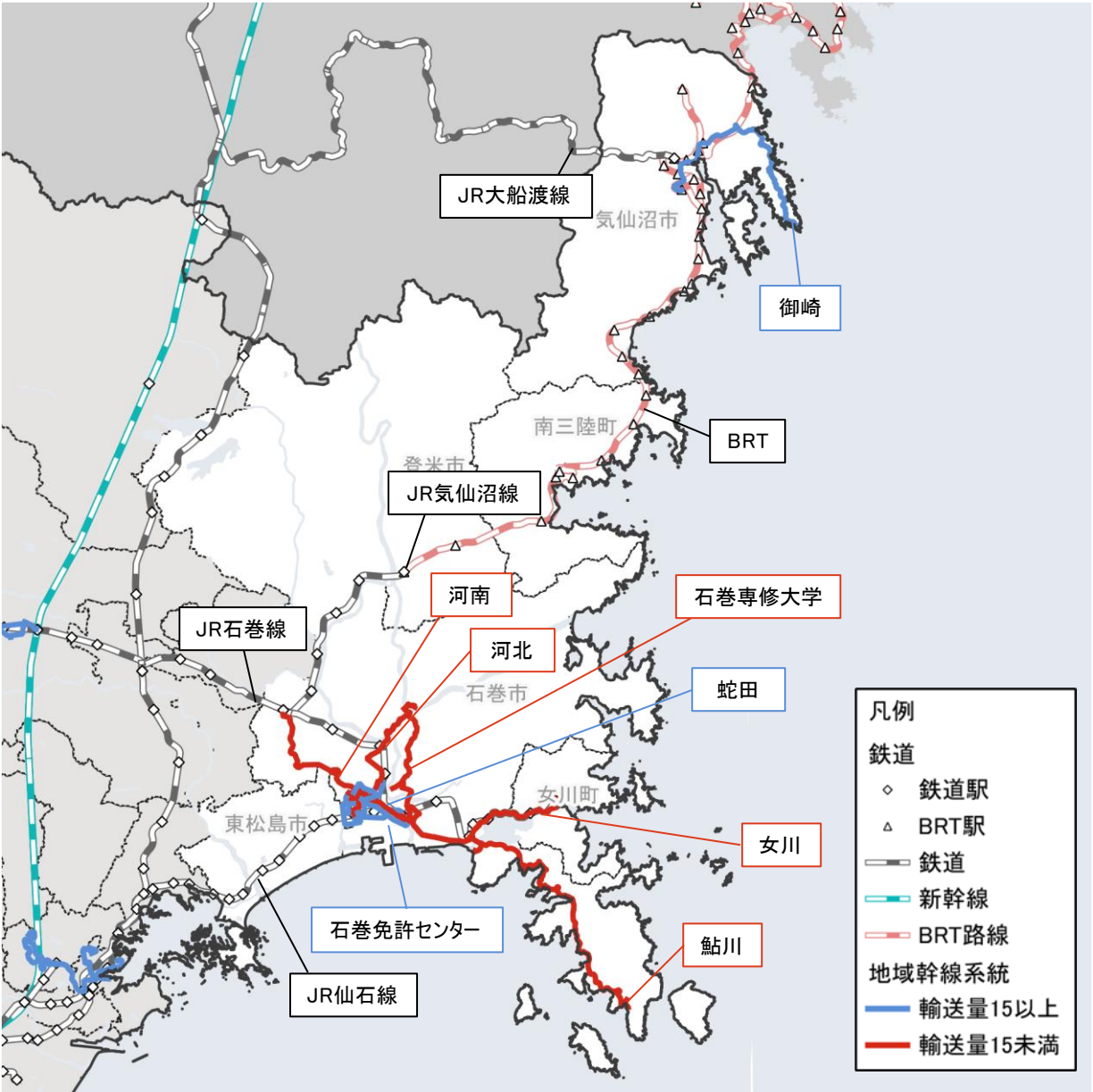


図 地域内幹線系統の運行状況(石巻・登米・気仙沼圏域)

(3)地域内フィーダー系統

当該圏域に該当路線はなし。

(4)公共交通への財政負担額

当該圏域の民間・地域運行の公共交通に対する補助額について、令和2年度から令和4年度にかけて増加傾向にあったが、令和5年度には令和3年度の値に戻っている。令和5年度から令和6年度にかけては約40,500千円増加している。

市町村営の公共交通に対する負担額について、令和2年度から令和5年度にかけて概ね横ばい傾向にあり、令和6年度には、約30,000千円増加している。

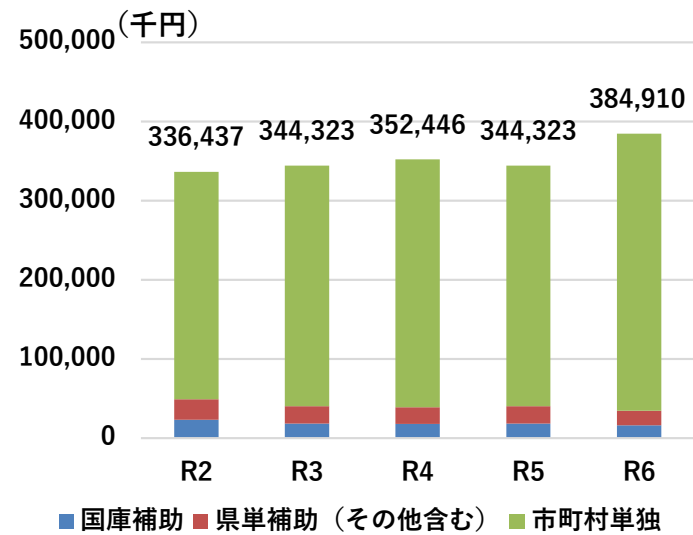


図 公共交通への負担額
（民間・地域運行）

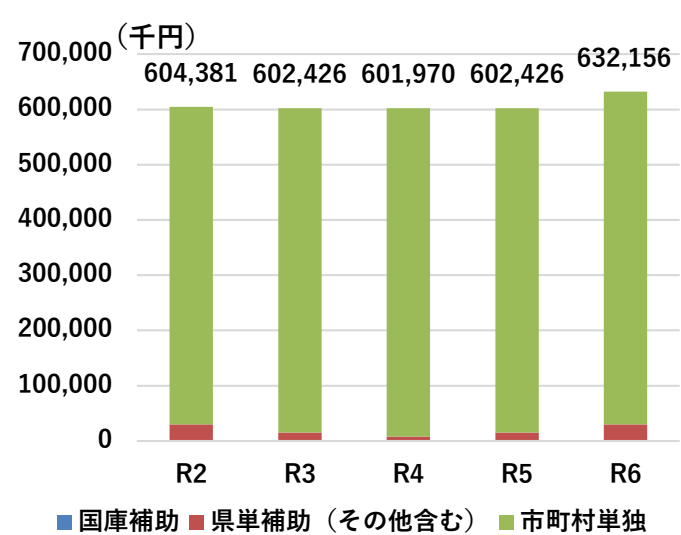


図 公共交通への負担額
（市町村営）

出典：地方バス路線運行維持対策に要する経費に関する調査

(5)公共交通に関する計画の策定状況

当該圏域では、6自治体中5自治体が計画を策定しており、1自治体が策定中である。

表 地域公共交通計画等(旧制度含む)の策定状況
2025年8月時点

市町村名	地域公共交通計画等(旧制度含む)の策定状況		
	区分	策定 (予定) 時期	備考
石巻市	策定済み		令和8年度末期間満了
気仙沼市	策定済み		令和8年度末期間満了
登米市	策定済み		令和11年度末期間満了
東松島市	策定中	未定	
女川町	策定済み		令和10年度末期間満了
南三陸町	策定済み		令和7年度末期間満了

- （参考）今後整理予定の項目
- ・時間帯別の移動実態の整理（ビッグデータの分析）
 - ・通院流動（レセプトデータの分析）
 - ・高校通学実態（高校アンケートの分析）